

医 書 界

ISHOKAI

Number 185
2023.4

目次

2023年全国医書同業会 新年互礼会	2
会長挨拶 梅澤俊彦	4
来賓祝辞 児玉 閲	6
乾 杯 金原 俊	8
中 締 安川義紀	9
第89回全国医書同業会研修会	10
「医学教育の潮流とオンライン授業環境に 求められる教科書」 駒澤伸泰	
全国医書同業会定例役員会報告	22
出版社だより	23

2023年全国医書同業会 新年互礼会

3年ぶりに全国医書同業会新年互礼会が1月6日、東京・帝国ホテルにて開催された。

出版に携わる業界の方158名の多数が参加され、日本医学図書館協会専務理事 児玉 閣様、自然科学書協会理事 飯塚尚彦様らの来賓を迎えて開催された。

新年互礼会は当会金子浩平総務委員長の司会で梅澤俊彦会長の挨拶に始まり、来賓の祝辞、日本医書出版協会理事 金原 俊様の乾杯の後、なごやかな宴に移り、日本医書専門店連合会副会長 安川義紀様の手締めで盛会裡に散会した。



● 受付風景



● 司会：金子浩平



● 当会は、本年で130周年を迎えました。



会長挨拶

全国医書同業会会長 梅澤俊彦

皆さま、明けましておめでとうございます。全国医書同業会新年互礼会、3年ぶりの開催となります。昨年の年末、私もいくつかの忘年会に参加させていただき、また、これから新年会もいくつか予定されています。宴席に参加させていただくと、だいたいこのような着席、ブッフスタイルで開催されております。かくいうこの同業会も、ちょっとおっかなびっくりですが、いつもと違う着席という形で、皆さんにはご迷惑をおかけするのですが、まだまだ感染者の数も増えている状況ですので、何卒ご協力、ご容赦をいただきたいと思っております。

看板にも書かれておりますので皆さんお気づきかとも思いますが、全国医書同業会は、今年、130周年を迎えることになりました。本来は式典などのイベントを行うべきなのでしょうが、やはりこの新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況ですので、ひっそりと申しますか、新年会互礼会の看板に掲げさせていただく程度にさせていただきますかと思っております。

130年の歴史と申しまして、記録を読んでもなかなか当時のことを想像できないのですが、記録上では、まず数少ない会員社数で始まったということは書かれております。ただ、それでもやはり130年前に、一応医学書業界として1つの盛り上がりがあったということは確かに言えることだと思いますので、それを思うと、先人の方々に感服する次第です。

130年間には、現在のように多くの感染症があり、特に日本では感染症によって多くの方が命を落とされている、そのような時代で、医療の花形は、やはり感染症専門



のドクターの方々、そういった時代だったと思っております。皆さんご存じかと思っております、この130年間にコレラ、赤痢などの感染症も蔓延しておりますし、インフルエンザということを言われておりますが、スペイン風邪もありました。その他、日本では結核ですね。結核で大勢の方が命を落とされております。また、感染症の他にも、第二次世界大戦、これは日本も参戦しまして、日本国民は辛酸をなめております。

現代を生きる我々も、やはり未曾有の感染症、新型コロナウイルスに苦しめられ、また東欧の方では戦争が起こり、物流や資材などの値段が高騰して、我々の業務に多大な影響を及ぼしているような状況です。ただ、先人たちがこの130年の間、数々の厳しい感染症や戦争を乗り越えて、この全国医書同業会を今の我々に引き継いでくださった、そういった努力を考えますと、今、我々は非常に苦しい状態ではあるかもしれませんが、なんとか悪い状況を乗り越えて、あとに続く人たちにこの医学書業界の交流の場というバトンを渡していかなければなら

らないと思っております。

着席という形で、皆さんご歓談を盛んに行っていただくことはなかなかできないかと思いますが、多少はご移動いただいて、なにせ3年ぶりですので、久しぶりに会う方もいらっしゃると思いますので、ご歓談をいただければと思います。

それでは、全国医書同業会会員の皆さま、および関係各位、この会場にご来臨いただきました皆さまの今年1年の健康とご多幸をお祈りしまして、新年の挨拶とさせていただきますたいと思います。本日はお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

来賓祝辞

日本医学図書館協会専務理事 児玉 寛

新年明けましておめでとうございます。ただ今、ご紹介いただきました日本医学図書館協会の児玉でございます。本日は全国医書同業会新年互礼会にお招きあずかり、誠にありがとうございます。

私の協界は、2年に1度、役員選挙を行い、昨年6月に現体制がスタートしました。長きにわたり会長をお務めくださった福井先生はご勇退され、今期より群馬大学医学部の小松康宏教授が会長に就任されました。本来であれば、小松会長からご挨拶申し上げますところですが、やむを得ない所用のため、代わって新年のご祝辞を申し上げます。

ご挨拶に際し、触れないわけにいかない話題が新型コロナウイルス感染症です。私は2020年の新年互礼会でもご挨拶させていただいておりましたが、ちょうどその直後に、日本で最初の罹患者が見つかりました。感染は瞬く間に広がり、4月には全国的に行動制限が敷かれるようになりました。日本にパンデミックの経験者はほぼおらず、日常をどう過ごせばよいか、まさに試行の連続でした。お集まりの皆さまも、さぞ苦勞されたことと思います。

大学をはじめとした学校や病院も現場は混乱しておりました。なんとか急場をしのぐと、ほとんど使ったことのないオンラインツールに頼らざるを得ない状況でした。このような窮状を見かねたいくつかの出版社様には、オンラインコンテンツを開放いただくなど、大学教育にご支援をいただきました。あらためて御礼申し上げます。あれから3年経った現在でも、コロナの脅威はまだ収まっておりません。しかし、本日全国医書同業会の新年互礼会がこのよう



に開催されるように、私たちは徐々に日常を取り戻しつつあると感じております。

コロナの混乱が収まらないなか、ロシアによるウクライナ侵攻という新たな脅威が起きました。日本は当事国ではございませんが、今の社会は地球規模でつながっており、どこかで紛争が起これば間接的に影響を受けます。その最たるものがエネルギーや食料といった資源の高騰です。これにより、円安が大きく進行し、医学図書館の外国雑誌契約を直撃しました。図書館では契約を維持することができず、購読中止が多発しております。今後の診療や医学研究に影響が出ないか心配されます。

新年のご挨拶に暗い話ばかりで申し訳ございませんので、明るい話もしたいと思います。100年前のスペイン風邪によるパンデミックでも、78年前の第二次世界大戦後も、人類は立ち直りました。したがって、きっと私たちも今の厳しい状況を乗り越えられると信じております。その乗り越えられた先にあるのはコロナ前、ウクライナ侵攻前の社会ではなく、新しい社会になって

いることでしょう。

新しい社会と私たちはどのように関わって行くのかということを考えますと、夢や希望、期待に胸が高鳴ります。そこには新しい時代に合った医学雑誌、医学書を出版・販売される全国医書同業会の皆さまもいらっしゃいます。

私どもは全国医書同業会の皆さまと今後とも連携を密にし、協力し合って、新しい日本の医療と国民の健康に寄与できますことを、心より願っております。全国医書同業会様の益々のご発展を祈念して、私の挨拶を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

乾 杯

日本医書出版協会理事長 金原 俊

皆さま、新年明けましておめでとうございます。日本医書出版協会理事長を仰せつかっております医学書院の金原でございます。大変恐縮でございますが、ご指名ですので一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まずは、全国医書同業会、創立130年、誠にありがとうございます。梅澤会長、大変おめでとうございます。130年ですから、設立は明治26年ということになり、おそらく私の知る限り、日本の数々ある出版団体の中で最も古い、最も長い歴史を有する団体であろうかと思えます。

また、歴史が長いというだけではなくて、出版社に加えて、書店さん、取次さん、そういった流通の方も会員となって、医書に関する限り、みんなで力を合わせて、広めていこうじゃないかという団体です。この点も非常にユニークな団体であろうかと思えます。

これは明治26年の130年前からやってきた、言ってみると古い精神ですが、実は現代にも通じる非常に新しい精神だろうと私は感じています。

たとえば私が一生懸命力を入れております電子における配信、ここにおいても同じです。電子における配信では、全国の大学はもちろん、大小様々な病院、そしてクリニック、それからまた看護学校などの医療系の学校、こういった何万もの施設に対して、電子配信のすばらしさを根気よく説明して、説得して、見積りを出して契約に結びつける作業が必要です。これはとてもとても出版社だけの手に負えるものでもち



ろんありません。地域に根ざした医書専門店さん、あるいは電子配信を得意とする書店さん、こうした方々にその作業に当たっていただくことが不可欠です。

そういった意味では、この130年前の、「医書に関する限り、分け隔てなく出版社も書店も流通も一緒にやろう」という精神は、今の時代においてもますます重要であろうと私は感じています。今後どうなるかはわかりませんが、おそらく社会はどんどん変わっていくことは思いますが、ますますこの全国医書同業会の精神が必要だと思えます。

そのような意味では、今年130年ですけれども、150年、180年、200年と、ぜひこの会を続けていただき、医書の情報流通に皆で努めていただければと思います。

ということ、お待ちかねの乾杯に移りたいと思います。乾杯でご唱和をお願いいたします。それでは、全国医書同業会のますますのご発展とここにいらっしゃる皆さまのご健勝を祈念して、乾杯。

中 締

日本医書専門店連合会副会長 安川義紀

ご紹介にあずかりました、千葉の志学書店の安川と申します。本来であれば日本医書専門店連合会会長の柳本が、中締のご挨拶するところなのですが、やむを得ない事情により欠席で、急きょ私が中締の挨拶をさせていただきますことになりました。

まずは、3年ぶりの開催となりましたこの新年互礼会、非常に有意義な時間となりました。この会の開催の準備に携わってくださった方、またご多忙の中お集りいただきました皆様、本当にありがとうございます。

この3年間、コロナ禍におきまして我々の業界も大きな影響を受けました。それに加えて、インフレだとか政権の不信とか、様々な部分で今年もなかなか厳しいのかなというところではあります。ただ、久々に皆さまとこのような形でお会いして、情報を共有し、また、相談をする場ができたということで、少しはこの厳しい難局を乗り越えることができるのかなということを感じることができました。そのような意味



で、このつながりが大切なのかなと改めて実感した次第です。

それでは本日、ここにお集まりいただきました皆様のご健康とご多幸、会社さまのご繁栄を祈念しまして、キレのいい一丁締めで締めさせていただきますと思います。

では皆さまお手を拝借いたします。

いよお、(パン)。ありがとうございます。

「医学教育の潮流とオンライン授業環境に 求められる教科書」

大阪医科薬科大学医学部
医学教育センター副センター長
駒澤伸泰

「医学教育の潮流とオンライン授業環境に求められる教科書」というテーマでお話をさせていただきます。はじめに世界の医学教育の動向と特徴についてお話しした後、卒後教育と卒前教育の課題と対策についてお話しします。出版業界の方も、卒後教育と卒前教育の書籍では、ちょっと種類が違うのではないかなとイメージされていると思います。どういう課題があるのか、どこを統合する必要があるのかということに触れていきます。次に私が学修支援という形で、現在の医学生の学修形態を調べている状況についてお話し、最後に、教員側からの新たな「医書」の役割とは何なのか。それは「辞書的」なものなのか、「統合的」なものだろうかという話をさせていただければと思います。

①世界の医学教育の動向と特徴

ワトソンとクリックによるDNAの二重らせん構造の発見以来、遺伝子レベルで病態が説明できるようになり、生命科学が革新的に発展してきました。さらに、現在は情報駆動化社会ですが、その前の情報社会(Society4.0)でもインターネットのおかげで、医療情報が一般・他業界にも知られるようになりました。逆に言えば多様な期待も医療界にどんどん投げかけられるようになってきたのです。その結果、必要な知識が膨大化し、要求されるスキルが増えました。実際、30～40年前に比べて心ない医



師というのは減っていると思います。これは医療面接教育が30年前から徹底的に行われるようになり、どうやったら接遇することができるのか、どう言ったら患者の感情に寄り添うことができるかというような、様々なスキルを身に着けるようになっていくからです。知識面は調べれば何とかあります。検査値の細かいところはその場、その度に調べていけば良いのです。医師に求められるのは深い臨床思考能力であろうということで、全世界的に「思考力重視の医学教育」になっています。

●医学教育の課題

医学教育の課題というのは世界共通で、いかにして質保証を行うかということです。国連の影響か社会の影響か、難しいところですが、JIS規格などがあるように、医療界でも教育の質保証についての取り組

みが行われています。

わが国の医科大学における医学教育の課題は、①医師国家試験の成績の維持、②分野別認証によるグローバルスタンダードの堅持、③大学基準協会によるナショナルスタンダードの維持（アクティブラーニングの導入、リサーチマインドの構築、多職種連携教育など）の3つと言えます。①医師国家試験による毎年の評価、②日本医学教育評価機構（JACME）による6-7年ごとの総括的评价、③大学基準協会による評価、これらをより良くしていくためには、全学的な「教育」の連携が重要になってきています。

さらに我々の領域の特徴というのは、過去の学修者が現在の教育者になっているというパターンが非常に多いことです。医科大学でいえば、今50歳、60歳ぐらいの教育者と呼ばれている方々は、30、40年前、学修者だったことは間違いありません。ただ、学ぶ人たちが教育者になっていることは変わらないですが、学修内容は革新的に変化していますし、学修環境や学修方法も変化しています。まずこれらの「変化」を理解することがなければ、医学教育は上手くないことは間違いありません。

生命科学・医療の未来予測は難しいです。10年後、20年後の医学医療問題というのは一体どうなるのでしょうか。2020年台現在、「高齢化」、「少子化社会」、「個人情報とマイナンバー」、「予防・保健医療と先進医療のバランス」などを考えています。これが2030年になるとどうなるのでしょうか。「超高齢化社会」、「再生医療」、「医療とAI」がキーワードになってくると思います。特にAIは診断領域において凄まじい勢いで広がっています。これら以外にも何か必ず起こってくるはずで、そして2040年になると、「さらなる超高齢社会」や「医療経済の崩壊」、「遺伝子操作」などの問題が顕在化してくるかもしれません。故に、予測できない「未来の医療」に対応する医療

者を育てる必要性があるわけです。

●医学教育教授法の革新的変化

医学教育の教授法は著しく変わってきています。江戸中期から明治維新にかけては、華岡青洲、杉田玄白、緒方洪庵らに代表される教育者が、少数の弟子に教えていました。他の伝統工芸と同じようなかたちで、一人の師匠に20～30人の門弟がいて広がっていく。いわばアートの伝承です。それでは3,000～4,000万人いた江戸末期の人口の医療を支えられるわけがありませんので、明治から昭和初期にかけて、ドイツ式の医学教育が導入され東京帝国大学が設立されました。その後、人口をいかに増やすかということで栄養学と公衆衛生学が成長しました。戦後GHQによって、米国式医学教育が入ってきたので、現在はドイツ式の上に米国式が乗っているような形になりました。こうした背景から、医学博士と専門医の両方を取得するのが医学部であるというのが今の状況です。米国式教育の影響を受けて、OSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）や、PBL（Problem Based Learning：問題解決型学習）、アウトカム基盤型教育、シミュレーション教育法が行われています。

また、学修者も変化してきました。世代によって考え方が違いますし、学修方法が違います。それぞれの時代と世代に合わせた「教育法」を提供していかないとけません。

アウトカム基盤型教育とはどういうものでしょうか。知識を覚えているかどうかではなく、「あなたは何かができますか?」ということを追いかけていくのがアウトカム基盤型教育です。これこそが、実地医療における医学教育のポイントです。従来の一一般教育目標（GIO）や個別行動目標（SBO）に基づくカリキュラムは個々人のGIO、SBOを注視していました。それよりも「カリキュラム全体で何ができますか?」とい

うことを重視するようになってきています。例えば「6年経った後に一人で蘇生ができますか?」というように、確実に教育して、確実に評価できるようなものでなければいけません。

●国際的な質保証に対する日本の

医学教育の対応

世界医学教育連盟(WFME)によるグローバルスタンダードの初版が2003年に発表されました。それを受けて日本医学教育認証評価機構(JACME)が2015年に設立され、2017年にはJACMEがWFMEから認証機関として認められます。その後JACMEによる国内医学部の認証が始まり、2023年度中に全医学部は一巡目の認証がされます。本学は2018年に認証されましたが、7年後にまた受けなければなりません。医学教育も質保証されながら、スタンダードを守りながら質を高めていかないといけないこととなります。その結果、変化に耐える医学部が生き残ることになると思います。「唯一生き残るのは変化できるものである」とダーウィンは言っています。医学教育に関する情報収集、開発、フィードバック、近未来の医学医療問題へ対応できる環境など、柔軟に対応する「医学教育」が求められているのです。

②卒業教育の課題と対策

実は、卒業教育までもが認証されています。卒業教育認証は非常に難しいと思われるかもしれませんが、医学部を6年間で卒業した後は、単独診療不可の初期臨床研修を2年間実施しています。

初期臨床研修を終えた後、だいたい卒業後3年目ぐらいから専門研修が始まります。専門研修では、整形外科にいたり、心臓血管外科にいたり、循環器内科にいたり興味のある専門分野について学びます。専門研修を始めてから4、5年して、指導医になっていきます。おそらく医学生か

ら初期臨床研修までは8,300～8,500人の人口を対象とした書籍が作られ、専門研修医(レジデント)から上になってきますと、専門別、診療科別の書籍が医書業界で作られているのではないかと考えています。

●卒業教育は形成的評価主体

卒業教育の評価について見ていきます。医学部は基本的には進級試験の連続になりますが、初期臨床研修医に関しては2年以上試験がありません。後期研修中も基本的に何の試験もありません。初期臨床研修、後期研修の間は総括的评价という厳しい〇か×の評価ではなく、“こうした方がいいよ”というような形成的評価です。本当の総括的评价は卒業後6年目か7年目の専門医試験になるわけです。その後は生涯教育やサブスペシャリティを磨いたり、大学院に入って医学博士をとるのかもしれませんが、後期研修を終えた段階で26、27歳になりますので、成人教育原理に基づいた支援体制が必要になります。

●21世紀における医学教育

21世紀の医学教育の挑戦は、「医学教育学者」と「臨床指導医」がいかにか協力できるかということです。臨床指導医への医学教育理論の普及で、さらなる卒業教育の充実を実現できます。

現在、必要な卒業教育改革としては①卒業前卒業教育の一貫性確立、②継続性のある医師の教育体制確立、③新専門医制度に対応した生涯教育、④博士号取得と並行できる卒業臨床研修システムが挙げられます。医学部5・6年生と卒業1・2年目の初期臨床研修とが一体化すればもっと充実するでしょう。継続性のある医師の教育体制の確立、生涯教育のところで新しい知識をアップデート出来ていない医師が多いということもありますので、ここにはメスをいれなくてはなりません。新専門医制度は各学会が対応するのではなく、専門医共通講習や

領域講習など、専門医機構に統一されています。こういった形に対応して、医療安全や感染の教育をする必要があります。日本では、どうしてもドイツ式教育の上に米国式が乗っているため、ドイツ式の影響で博士号取得する医師が非常に多いです。故に、博士号を取得と並行できるような卒後臨床研修システムを提供しなくてはなりません。こうした変化に対応できる医局及び研修病院が生き残るだろうと思います。指導医によるファシリテーション、各医局や病院群による教育体制、全学的連携によって、継続的な臨床・研究能力向上システムを構築していくことが大事なのです。

③ 卒前教育の課題と対策

卒前教育と卒後教育には大きな違いがあります。(図①) 卒後教育の場合は、大体指導医と1対1もしくは1対2の関係になりますので、教育者の役割は非常に明確です。研修病院でしたら1年ずつローテーションしていきますので、関係時間も長いです。学修の課題も連続的なものになります。先ほど申し上げたように、評価方法もテストを受けさせるのではなく、医師としての多様な能力を形成的に評価することとなります。一方、卒前教育では、教育者は6年間のカリキュラムの中

で何をしているかが非常に分かりにくいです。約100人の学生がいて、授業は週に1回なので関係時間も短いです。学修課題もカリキュラムに基づいてはいるのですが、教える側からすると非常に断続的に見えることもあります。評価としては総括的評価。テスト、テスト、進級、進級という形になります。6年間のカリキュラムにおける各教室や各教員の役割が複雑なので、アウトカム基盤型教育が必要となるのです。

卒前教育は総括的評価主体です。6年間継続する力⇔やり抜く力 (Grit) のサポートが必要です。テストを切り抜けて、6年生まで進級して、卒業試験を超えて医師国家試験を受けるところまで、どうにかして継続してやり抜く力を支援していくことが卒前教育の特徴です。

卒前教育の改善には3つの方向性があります。①アウトカム基盤型教育への学修目標の明確化、②医師国家試験を含めた学修目標の設定と大学の独自性の堅持、③アクティブラーニングとやり抜く力 (Grit) の維持です。それぞれについて解説していきます。

1. アウトカム基盤型教育への学修目標の明確化

アウトカム基盤型教育のアウトカム (成

図①

卒前教育と卒後教育の比較

	卒前	卒後
教育者の役割	役割を把握しにくい	役割が明確
学習者との関係時間	関係時間は短い	関係時間が長い
学習課題	断続的	連続的
評価	総括的評価が多い	形成的評価が多い

果) というのは、「卒業時」のコンピテン
ス(高い評価につながる行動特性)だけ
ではありません。未来の、変化していく
医療界の中で、どのような質のアウトカ
ムを提供できるかが大切です。新しいこ
と、わからないことに対応できるよう
なるにはリサーチマインドが必要です。
全ての医師が何らかの学会に入っている
理由は、未来の分からないこと、新しく
分かったことをしっかりと実践できるよ
うにリサーチマインドを持つことがアウ
トカムの一つだからと言えるでしょう。
予測不能な医学医療界に対応できる教育
体制というものが必要になります。その
ためには、「現在」の学修目標を我々教員
は把握しなければなりません。10年、20年、
30年経って、「学修者特徴」も「学修内容」
も大きく変化しています。全ての教員が
アウトカム基盤型教育における自己の役
割、医学生6年間の連続性、基礎医学と
臨床医学はどのように接続しているのだ
と、連続性の中で「何を教えればいいか」
を意識していることが大切です。

「病気がみえる」という医学書の革新性
は「基礎医学と臨床医学の連携」です。多
くの医学部の授業は基礎医学と臨床医学は
乖離しているとも言われていました。疾患
のイメージ化・臓器別の考え方が非常に難
しいということです。20年ほど前に「病気
がみえる」が、基礎医学と臨床医学を繋げ
ようというコンセプトで刊行され、大ベス
トセラーになりました。今後、医学部の教
員には、6年間の医学教育における自己役
割の認識が必要だと言われています。学修
目標、学修者理解度、学修者特性、教育方
略とありますが、自分の担当授業や実習が
6年間でどんな役割を持つかを意識するこ
とが大切です。

2. 医師国家試験を含めた学修目標設定と 大学の独自性の堅持

医師国家試験は全国共通の試験です。妥

当性、客観性、信頼性について、毎年厳し
くチェックされていますし、批判を受けな
がら年々良くなってきていると思っていま
す。客観性追求のため、医師国家試験は5
つの選択肢から1つか2つ選ぶ「多肢選択式」
という形で行われています。知識と「問題
解決能力」を評価しているわけです。これ
は医学部の総括的評価として知識及び臨床
判断能力を評価しているとも言えます。

私が受けたときは3日間で550題でしたけ
れども、現在ではトータルで400題に減っ
ています。必修問題100題は80%の絶対評
価です。医学各論・総論は300題あって、
これは相対評価です。550題あった時に比
べて400題になりますので、1問落とすと結
構厳しいことになります。さらに1997年ぐ
らいから「禁忌問題」、いわゆる地雷問題
とも呼ばれる問題が出るようになりました。
明らかに倫理や法令に違反、もしくは
生命や臓器機能廃絶に繋がるようなものを
2~3つ選んでしまう学生を落とすための
問題ですが、試験結果を見るとこの問題を
落としている人はそんなに多くはないよう
です。

・診療参加型実習と医師国家試験

現在、診療参加型実習をどんどん行って
卒前卒後のシームレス化を図ろうとしてい
ます。それがClinical Clerkshipです。医師
国家試験では知識と臨床判断能力を図りま
す。技能と態度はどうやって図るのかとい
うことで、臨床実習後OSCEというものが
導入されました。ステューデントドクタ
ーの公的化を目指して、臨床実習の前に技能
と態度をシミュレーションで評価するため
のPre-CCという臨床実習前OSCEも約20年
前から導入されました。ステューデントド
クターはようやく2023年度から公的化され
ます。医学部の場合、非常に診療参加型実
習というのが重視されています。その分医
師国家試験では、知識面と臨床判断能力に
関する問題が増えています。さらに4年生

でCBT (Computer Based Testing) がありますので、一般問題がものすごく減りました。550題から400題減ったと申し上げましたが、主に一般問題を減らしています。必修問題は臨床実習の「質」を反映するようにどんどん変わってきています。必修問題のテーマを見ますと蘇生、緩和、検査、プライマリーケア、基本的診断手技、患者対応、コミュニケーションとあり、基本的に臨床実習前OSCE、臨床実習後OSCEの技能部分のところを言葉で選べるかどうかを見えています。臨床実習を意識した作問傾向になっているため、臨床実習をいかにきちんとできるかが必修問題の成績に直結しています。

・医師国家試験の意義を正確に認識

我々に必要なことは医師国家試験の意義を正確に認識することです。医師国家試験は以前の様に1対1的な受験テクニックは通用しません。カリキュラムは、コアカリキュラムに沿った臨床実習の学習目標を反映した医師国家試験を十分に含有するカリキュラムであるべきです。個々の教員全員が現在の医師国家試験内容を理解し、日々の臨床実習・授業に還元することが大切です。共通・境界領域の知識は、様々な診療科で相互補填できるとも言われています。

繰り返しになりますが、問題数の減少は、臨床現場での深い思考重視にも繋がっています。「全ての診療科に必要な基本スキル」である必修問題、「深い臨床思考力を要する」臨床問題という形で、少々乱暴な言い方をしますと、医師として必要な最低限のルールと臨床思考能力を医師国家試験で担保できるのではないのでしょうか。これはすなわち、診療基本を守り、深い思考が可能な研修医を育成しているということです。診療参加型臨床実習を重視した作問をすることで、1対1の紙の上の勉強だけでは突破できないように、どんどん工夫されています。

さらに、学修目標の明確化と医師国家試験の統合が必要です。近年の医師国家試験は、モデルコアカリキュラム導入による明確な出題基準と包括的なアプローチを強く意識しています。「各大学の学修目標」というのは、「モデルコアカリキュラム≒医師国家試験」を含んだものにならないと、なかなか6年間上手くいかないと思います。そのため今一度、各教員が学修目標を確認して、医師国家試験の必要事項としてリサーチマインド、プロフェッショナルリズム、地域貢献について、我々はどうあるべきか、どうやったら自分たちの置かれている状況に沿ってベストな将来にできるのかを考え、ナショナルスタンダードを満たしながらも各大学の特性を活かしたカリキュラムにしていく必要があります。

・アウトカム基盤型教育のために各教員がロードマップを知る

医学部の教員は、ロードマップの中での役割を認知し、担当科目で一体何を教えるべきなのか、そしてどうやって学修成果を評価したらいいのかを考えなくてはなりません。究極的には将来この学生はちゃんと新しい問題に対応できるのかということも評価する必要があります。医学生の歩みとともにアウトカムは複雑化するので、自分がそのロードマップの中で何を担当しているのかを教員は理解する必要があるわけです。各教育者が協調したら、6年間の教育効果は絶大です。それができれば世界有数の医科大学になれると思いますが、現実的にはなかなか難しいです。

3. アクティブラーニングとやり抜く力 (Grit) の維持のために

7、8年ほど前に「Grit」という本が流行りました。結局、人間には能力なんて関係ない、「目的達成のためには長い時間、継続的に粘り強く努力する力」、つまり執着性が強ければ物事を最後までやり遂げるこ

とができる。教育者がすべきは、「学修者のモチベーションを高めること」であるという内容でした。これはアクティブラーニングの考え方に一致しています。学びの主体は学生であって、教育者はあくまでも環境調整、ファシリテーターだということと、忘れてはいけないのが、同じ目標を持つ仲間というのは最大のサポートであることです。

アクティブラーニングの必要性ですが、成人である医学生に勉強しなさいと言ってもなかなか意味がありません。何故これを勉強しないといけないのか、何故これを考えなければいけないのかという学修の必要性を理解させることで、自分でも疑問を持って調べて学びます。そのためにシミュレーション教育、PBL (Project Based Learning:課題解決型学修)があります。「症例提示でこういう条例ありましたが、あなたは何かから調べていきますか？」というのもアクティブラーニングの一つです。

一方的な教育というのは幼稚園までが限界だと思います。小学校高学年になると自ら学ぶ姿勢を育て、どうやったら勉強が上手くいくだろうと考えながら必死に勉強するということになっています。やはり自分で学び方を考えることで質が向上するわけですので、成人は「自ら学び方も考える」ことが必要です。ベースとなる小学校教育でも文部科学省はかなり頑張っていると思います。小学校3、4年生で英語教育を始めています。私立の小学校では1、2年生で開始しています。プログラミング教育でデータサイエンス、AI教育プログラムも文部科学省が行っています。主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）による授業の改善を行っているのです。アクティブラーニングがないと膨大な知識を機能的に活用することが不可能になります。

・ミラーの学習ピラミッド

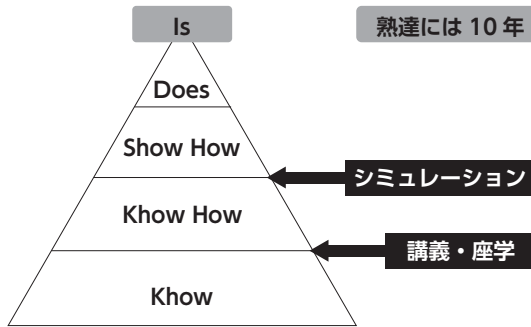
どんな業界でも熟達するには、だいたい

10年かかります。何も考えずに毎朝、病院にやってきて診療ができるようになるのが10年と言われてます。結局、7、8年経ちますとDoesと呼ばれる専門試験、臨床実践能力で大体できます。Show Howというのは、やり方を教えることができるということで、上の指導を見ていけば大体できます。Knowは知っているだけですが、医学の場合は診療行為ができないといけません。そこでKnow HowからShow Howに移行する段階で、シミュレーションが有効と言われてます。例えば、蘇生練習用のマネキンを置いて“一次救命処置をやってください”“二次救命処置やってください”、というのはまさにShow Howです。何かを行うという実地的な意味合いが強い我々の世界では有効と言われてます。しかし、これも自分のアクティブラーニングなしには熟達化の10年には到底達することはできません。(図②)

アクティブラーニングをするためには、学修者と教育者の信頼関係が大切です。これは個々の教育者のこともありますし、大学全体のこともあります。大学全体と教員との信頼関係も必要になります。評価・遵守事項を明確化する必要もありますので、「テストは何月何日に行います」、「合格基準についてこうです」、「追試はこういう場合に認めます」と伝えます。例えば、新型コロナウイルスの時に、体調不良を自ら申告してきたのに留年させたら訴訟になると思います。ただし、正直に報告してきて、保健管理室で検査して、行動指針も守っていた場合、追試験にしますという場合は信頼関係が保たれるわけです。やり抜く力を外的かつ内的に育成することが非常に大切ですが、なかなか難しいと思います。環境調整も外的なものもありますし、内的なものもあります。やり抜く力をいかにして育てていくかというのが卒前教育の難しいところです。

図②

ミラーの学習ピラミッド



・アクティブラーニング活性化のために：

①医学概論・キャリアデザインの活用

アクティブラーニングを活性化するための一つとして、医学概論という学問があります。医学概論とは、「医学とは何かを常に根源的に見直す、医学の本質を見極める」学問ですが、「生命倫理学」、「医療倫理学」、「医療人類学」が基盤になっています。実際に早期臨床体験実習のように、1、2年生から病棟に配属して患者さんと話ができるようにしようとか、病棟で粗相をしないようにしようという実習がありますが、それも医学概論です。医学の歴史、医療問題に関して早期から考え、自己の職業意識、使命感を維持することが非常に大切ですし、自分はこの未来の医療下でどうしたら良いのかということを経験デザインとして考えさせることも、アクティブラーニングを養うのに有効と言われています。

・アクティブラーニング活性化のために：

②リサーチマインドの養成

もう一つがリサーチマインドの養成です。どこの医科大学でも数週間、数ヶ月単位で研究室に配属されます。そこで新たなこと、曖昧な問題をどうやって解決していくのか、どうやって調べていくのかを知っ

たり、プレゼンテーションについて学んだりすることでアクティブラーニングが活性化されていくと言われています。臨床医学領域、基礎医学領域、社会医学領域など様々な研究分野があります。こうした様々なリサーチの存在と意義を理解して、「知を生み出す知＝メタ知識」を求める姿勢を医学生として持つことは将来非常に重要なことです。さらに、6年間やり抜く力(Grit)を支える環境整備が必要です、そのためには、大学の教育システムや国家試験予備校などによる他視点の学習法、そしてアクティブラーニングが大切になります。

医科大学は、グローバルスタンダードを遵守し、個性を育成していくことが重要です。日本医学教育学会や世界の医学教育、厚生労働省の動きを見ながらカリキュラムを作成し、医学生を育てていかななくてはなりません。教育は大学の存在意義ですから、医学教育学が必要なのかなと思います。

④現在の医学生の学修形態を探る

3年ほど前に新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、遠隔授業が行われるようになってきました。遠隔授業と対面授業の違いを調べてみると、遠隔授業はスライドが見やすいなどの利点がある一方で、メタ言語やコミュニケーションが制限され、

学生への質問は、教員の側から行うことは非常に難しく、授業中の集中度の確認を教員が行うことも困難です。また、学修理解度の確認も困難で、資料提示も録画されている場合のことを考えると提示できるものが制限されることから、授業をする側からすると遠隔授業は非常に難しいと言われています。学生側としては、遠隔授業は再視聴が可能で、疑問点を回避できるのも良いところですが、学友とのコミュニケーションは制限されますし、グループでの学習も制限されます。大学に来ることで得られるものはだいぶ制限されてしまっているのかもしれない。

さらに、6年生がどうやって医師国家試験の勉強しているのかを2022年3月に調査しました。その結果、デジタル教材でのみで勉強している学生が8～9割、手で書く習慣がある学生が4割ぐらいに減少しました。今後もっと減っていくと思います。中学校、高校までは書く習慣がありましたが、大学に入ってから急に減っているわけです。次にグループ学修も減っていました(Komasawa N, J Edu Health Promot 2023で報告)。

大学の資料のみを用いて自分一人で試験勉強している学生は非常に少ないと思います。ほとんどが友達と集まったり、先輩から試験問題を入手したりしながら、横の繋がりで一緒に勉強して相互学修支援しながら試験を突破していきます。学友というのは色々と教え合い、高め合う存在であります。学友を作ることも「大学に来る意義」の一つだと思います。そこで原級留置してしまうと孤独です。人数の多い大学の留年とは違って、医学部という100人ぐらいのコミュニティの中で、3、4年一緒にいた学友が急に下の学年に落ちることを想像していただきたいです。そういう時は大学による学修や生活支援が必要になります。また、課外活動も、学年を超えた垂直の繋がりが人間関係が構築できるという意味で医学部

において重要です。これも新型コロナで部活ができなくなって崩壊していますが、原級留置してしまった場合、部活に入らなかったら仲間からの支援が期待できないため、部活には入っていたほうが良いかなと思います。

⑤新たな医書の役割～辞書的か統合的か～

学会のガイドラインや医療情報も、全て検索すれば出てくるような時代になっています。『朝倉内科学』、『イヤートート』は毎年毎年売っていますが、これらに求められているのは、「正しい知識」という、「辞書的な役割」なのではないかと思っています。私自身もいくつかの書籍出させていただきましたが、学生の立場から考えてみると「電子書籍化」だけではこれ以上販路を拡大することは難しいのではないかなと考えています。新たな「総合的」な書籍の存在が期待されているのではないのでしょうか。

例えば、一つのシンプルなテーマに対して、最新の知識、正しい知識、正しい引用からのリンクを徹底する。おそらく各出版社は、ある一つの診療科に関連した書籍だけでも数十冊持っていると思います。そこで、この書籍の“こういうところ”について、詳しく他の書籍の“この部分を参照してください”という形にするとか、QRコードで動画サイトなどと連結させ、その知識を1年か2年に1回、版を新たにして販売する。なかなか大変な作業だと思いますが、これをしていると辞書的かつ総合性のある拠り所となる書籍という新たな形が見えるのではないかと感じています。出版社内の書籍間連携として、例えば研修向けの総合書籍があると思います。値段は1万円するけれども、それにはナラティブな切り口や意外な切り口も書いてあるし、手技動画は無料で観ることができ、専門的知識のガイドラインも無料でリンクという形にしておく。初期臨床研修医の年収は約400万円で

すが、良いものでしたら勉強になるので1万円でも必ず買うわけです。ただし書籍に求めるのは「正しさ」ですので、毎年改訂していくことで質保証をすればいいのではないかと思います。『麻酔科研修チェックノート』という書籍がありますが、バージョンは2～3年に1回必ず変えているので、出版部数が落ちずにすんでいるのかなと私は考えています。やはり、医書でも柔軟に対応できるものが生き残るとい形になっていくとも感じています。

●私が作成したいと考える総合書籍①

私が今、作成したいと考えている「総合」書籍は、『初期臨床研修医サバイバル』です。初期臨床研修医向けの総合書籍で、「学び方」に重点を置き、同一社内の各書籍とリンクさせていけば、おそらく2～300ページでその初期臨床研修医の2年間に対応できるような書籍ができるのではないかと思います。「知識」だけでなく、「手技」に対する根拠資料を求める情報駆動型社会(Society5.0)の書籍です。研修システムは年々変わりますので、毎年内容を更新して初期臨床研修医サバイバル2023 2024と更新していきます。このように新しさがあれば、他の書籍を駆逐できますし、質改善が毎年行われるので継続的に売れるのではないかと考えています。

●私が作成したいと考える総合書籍②

もう一つ私が考えているのが読む「学修支援」ということで、医学部における「学び方」を考える書籍です。適宜、自社内の学習書籍とリンクしながら、「手で動かして書いて学びましょう」、「生理学はこのように学ぼう」、「解剖学はこのようにイラストを書いてみよう」といった学び方を伝えていくことが大切なのではないかと考えています。

おわりに

書籍とは一体何なのでしょう。「書」というのは、昔から正しさや学びを求められているわけです。やはりインターネットだけの情報で良いのか、ガイドラインのPDFだけでいいのかということはないのです。それに対する著者や医学教育に関わっている人たちの思い、考えを注釈として込めることによって深みが生まれるわけです。古事記や日本書紀に関しても本居宣長らによって注釈や検討が行われたからこそ深みがあります。私は、書籍というのは本当に意味が深い歴史を持っていると思っています。そして、時代に応じて書籍も変わっていく必要があると感じております。

質疑応答

●教育者の立場としての使いやすい、もしくは使いたい教科書というものと、学修者として使いやすい、使いたい教科書で違いがあるのかご教示ください。

卒後教育では、そういった違いは基本的にあってはいけないと思います。卒後3年目以上の専門診療科にいる学修者は、数年経ったら専門医、教育者になりますので、学習者と教育者の間に差があってはけません。一方、卒前に関しては、その差はあると思います。辞書としては共通ですが、学び方やここがポイントということに関しては、学修者と教育者でどうしても差が出てきます。卒前と卒後の差を意識しないと非常に難しいです。学修者が歩み寄ることは不可能だと思いますので、教育者、書籍を作る側が歩むべき問題だと思います。

●教科書に関してよく付録動画がついている教科書が多いと思いますが、付録動画の有用性について（有用である場合どんな内

容が適しているのか)、お考えをお聞かせください。

例えば手技、複雑な点滴の動作に関しては、言葉と写真だけでは一連の流れが分かりません。人間は言葉を発しながら、他の人と協力しながら手技を行いますので、言葉と写真と動画は必要になります。何ができるかということ、医学教育の観点から追い求めているかといけません。ただ、現在、動画教材について色々なところで作成されていますが、質がまだ担保されていないのが現実だと思います。

●21世紀では医学教育者と臨床指導医がいかに協力できるかという課題が示されましたけれども、実際はどのようなケースなのでしょうか、実例を紹介ください。

例えば怒っているのかという問題があります。今だと怒るとパワハラという話になりますけれども、怒らなきゃいけないときはあります。もし研修中に、致死的な行為にいく場合は止めないと患者さんが死んでしまいます。それは倫理的にも法的にも問題がないわけです。患者さんの身に医療安全的に問題が発生しかねているときに対応するのは医療従事者としての義務です。最初から怒鳴りつけたり、自分の感情を満たすために怒るのは良くないと思います。

働き方改革などと言われていますけど、研修医を家に帰すということにはすごく意味があると思います。家に帰ることで研修医はどうするかというと、心理的に安全な環境の中で自分は次どうしたらよかったかなということを考えるわけです。その場で怒鳴りつけても研修医は怯えるだけでいかにして明日生き延びる、やり過ぎすかの方にいってしまいます。そうではなく、今日はこういうことが課題だったかもしれない、今後こういったことを1週間、2週間、

数ヶ月かけてやっていくものだけでも、これを良くするためには何が必要だと思うかなという風にファシリテーションしてあげると、家に帰ってじっくり考えるわけです。後は休息を取らせないと学習効果が下がるということも教えなくてははいけません。医師として24時間手術に入って根性も出さないといけない場面もありますが、それは我々のプロフェッショナルリズムです。そういった区別は医学教育をやっている人間、その中でも臨床をある程度分かっている人間だったら綺麗に説明ができるのではないかと思います。

●コロナ禍において遠隔授業、対面授業それぞれのメリットデメリットがありますが、先生の講演の中にありましたやり抜く力 (Grit) を身につけるにはどちらの授業形態が最適なのでしょうか。

病院の臨床実習で、患者さんと触れ合うことで少々不真面目な学生でも変わります。やはり対面は大事です。画面で話し合うだけでは、コミュニケーションとは言えません。我々にはメタ言語というものもありますので、学友と触れ合って、患者さんと触れ合うことが私は大切だと思います。ただ、遠隔教材というのも繰り返し見ることができると、学修補助としての面は捨てがたい面もあると思っています。

学生としても学校に行けないことは厳しいですし、部活ができないのは辛いということを知ってきたようで、対面授業を希望するようになってきました。

●先生が作成してみたい書籍に関して電子が主体とありましたが、今後の医学書籍に紙の書籍は不要になってしまうのでしょうか。

幼稚園からiPadなどで勉強しているなら不要になると思いますが、多分そうはなら

ないのではないのでしょうか。我々が基本的に手で書いて、書籍で高校まで勉強している限り変わらないとは思いますが。医師国家試験の勉強を見ている、紙の書籍で5～6人が集まってやっていると思います。私としては紙の書籍で、200ページ程度の一つのテーマをまとめたものがある、その中からスマホをかざすと動画にたどり着い

ていくなど、コアは本でなくてはいけないと思っています。本というのは編集者を始めとして多くの人たちが頑張って作りますので、温かみがあります。まだ幼稚園から絵本をiPadで読んだりしているのを見たことはありません。本はそれだけ愛着があるものであり、なくなってはならないものだと思っています。

全国医書同業会定例役員会報告

定例役員会は2023年2月17日に、ZOOMによるWEB開催となりました。議題は以下のとおりです。

出席者 梅澤俊彦会長
小立鉦彦副会長 安川義紀副会長
浅井麻紀 乾 真一 井上裕史
金子浩平 金原 俊 瓦谷秀治
末定広光 高橋 穰 福村直樹
吉川忠夫 渡邊一仁 渡辺修司
欠席者 廣川和人 藤実彰一
敬称略(五十音順)

〔議 題〕

1. 梅澤会長挨拶

2. 総務委員会(金子委員長)

1) 2023年 第77回総会開催の可否について

日 程：2023年6月12日(月)

会 場：出版クラブホール(神保町)

時 間：午後14時～議事進行、その後、
階を移動して簡単な懇親会を
開催

2) 2023年 新年互礼会の収支報告

3) 2024年 新年互礼会

開催日程・会場の件

日 程：2024年1月5日(金)

会 場：帝国ホテル「光の間」
(予約済み)

4) 届出事項変更届

・金原出版株式会社

(電話番号、FAX番号変更)

5) その他

①決算関連

3. 広報委員会(末定委員長)

1) 医書界184号の収支報告

2) 全国医書同業会130周年記念HP制作の
進捗状況

4. 研修委員会(福村委員長)

1) 2023年開催予定 第90回研修会について
(WEB開催)

日 程：6月の総会時には研修会を

行わず、7月初旬に動画公開予定

テーマ：コメディカルを志す学生教育の
実態

講 師：中島雅美氏(国試塾リハビリ

アカデミー塾長)

2) 第91回研修会について(リアル開催)

日 程：9月～10月を予定(※9月21日

(木)か10月5日(木)で調整中)

会 場：出版クラブ(仮予約済み)

テーマ・講師：調整中

*6月の総会に倣って出版クラブで

開催し、研修会後に懇親会(簡単な
立食パーティ)、夕刻には終了予定。

5. その他

1) 次回役員会開催

■日時：2023年5月23日(火)

15：30-16：30

■ZOOM開催

広報委員会

委員長：末定広光(全日本病院出版会)

委 員：市川太郎(南江堂) 宇野一実(南山堂) 岡部 翔(日本医事新報社)

下村裕一(羊土社) 鈴木由子(全日本病院出版会) 谷口文武(医学書院)

(五十音順)

出版社だより

金芳堂	23
建帛社	24
克誠堂出版	24
コロナ社	25
新興医学出版社	25
真興交易医書出版部	26
診断と治療社	26
全日本病院出版会	27
総合医学社	27
中外医学社	28
東京医学社	28
中山書店	29
南江堂	39
南山堂	30
日本医事新報社	30
日本看護協会出版会	31
文光堂	31
へるす出版	32
丸善出版	32
三輪書店	33
メジカルビュー社	33
メディカ出版	34
MEDSi	34
羊土社	35
朝倉書店	35
医学書院	36
医歯薬出版	36
化学同人	37
Gakken	37
金原出版	38
協同医書出版社	38
共立出版	39

■ 新刊のご案内 ■

☆深く息をするたびに

田中竜馬 訳

四六判, 384頁

定価3,520円(本体3,200円+税)

アメリカ集中治療医学における重鎮、Ely, E. Wesley医師が、集中治療症候群(PICS)の発見、対策の検討の歴史や、救命絶対視から全人的医療への転換を語ったエッセイ集を、あのヒットメーカー・田中竜馬先生が翻訳! コロナ禍における「重症化」で一躍注目を浴びるICU・集中治療の変革を綴った、医療エッセイです。

☆薬剤師のための

医薬品情報のトリセツ

菅原鉄矢 著

A5判, 334頁

定価4,400円(本体4,000円+税)

薬局薬剤師の周りには医薬品情報があふれています。ただ、どの情報をどう集めるか、何に目を通すのか、どのように活用すればよいのか、すべて理解している薬剤師は少ないのではないのでしょうか。日々の業務に忙殺されている中で、いかに効率的に医薬品情報を扱うか、患者さんに何を提供すればよいのかなどを収載しました。

☆時系列で紐解く 有益な輸液の話

川上大裕 著

A5判, 192頁

定価3,960円(本体3,600円+税)

研修医・若手医師向けの輸液入門書。難しい難しいと言われ、数多くの本が刊行されている輸液分野に新しい入門書です。著者が実際によく受ける質問をベースにしています。輸液療法で迷うこと、難しいことなどの対応をまとめた参考書です。最後に、声に出して初めてわかる遊び心、「ゆうえき」な「ゆえき」の話です。

金芳堂

■ 新刊図書のご案内 ■

☆基礎から学ぶ栄養学研究

村上健太郎 著

B5判, 192頁

定価3,300円 (本体3,000円+税)

栄養学研究における倫理から、論文の探し方と読み解き方、栄養学研究の実践方法、学会発表・論文執筆まで、基礎から解説し、科学的根拠に基づいた栄養学の実践についても著者の経験を交えて解説しています。学部生・大学院生への学位論文指導等のテキストにも好適です。

☆三訂 臨床栄養学実習

一フローチャートで学ぶ臨床栄養管理一

中村富子, 植田福裕 編著

A4判, 128頁 (別冊24頁)

定価3,080円 (本体2,800円+税)

栄養アセスメント、ケアプランの作成、栄養管理の一連の流れを理解できるよう、フローチャート形式で順序立てて学習する実習書です。三訂版では、喫食率の把握など、実際に即した実習課題を盛り込むなど大幅に見直しました。症例解説や身体計測、訪問栄養指導の様子など、豊富な映像資料を付録としています。

☆症例から学ぶ

子どもの構音障害

能登谷晶子, 諏訪美幸 編著

B5判, 2色刷, 208頁

定価3,410円 (本体3,100円+税)

子どもの構音障害に特化し、これまで詳細に触れられることが少なかった発達障害との合併や難聴児に対する訓練・指導など、豊富な症例を掲載しています。ST養成校、若手実務者、ことばの教室の教員向けに、評価・訓練の進め方を表にまとめ、経過がわかりやすく実践的にまとめました。

建帛社

■ 好評書のご案内 ■

☆眼瞼下垂レーザーミューラータッキングマニュアル

宮田信之, 村上正洋 著

B5判, 112頁

定価7,700円 (本体7,000円+税)

皮膚切開から組織の剥離へ流れるように術野を展開していく手さばき！

目標のMRDに1回でピッタリとそろえるミューラー筋タッキング！百戦錬磨の宮田信之DRのCO2レーザーを用いた「Extended Müller Tucking」, その手術の詳細を動画50編を交えて紹介します。「眼瞼形成手術に携わる医師に極めて有益なコツの『宝箱』になりました！」(共著：村上正洋)。

☆システマティックレビュー／

メタアナリシス／Mindsガイドラインを書き始める方へ

堀田信之 著

B5判, 240頁

定価5,940円 (本体5,400円+税)

システマティックレビューとメタアナリシスに関して、初学者がすぐにでも論文を執筆でき、Mindsの診療ガイドラインのSR委員の仕事をごこなせるようにとの観点から執筆されました。

インターネットや図書館で容易にアクセスできるデータを整理することにより、お金をかけずに、患者の負担もなく、未解決問題を解明し、医学の発展に寄与できるシステマティックレビューとメタアナリシスは、秀逸な研究手法です。臨床上の疑問点について論文を取り寄せ、3か月ほど時間を割いてデータを整理すれば、英語論文が執筆でき、世界中にエビデンスを広められます。天才的なひらめきは不要です。すべての研究者が待望していた入門・解説書の完成です。

克誠堂出版

■ 好評書のご案内 ■

☆次世代生命情報医学

田中 博 著

B5判, 318頁

定価5,720円 (本体5,200円+税)

本書は、未来の医学・医療を「データ駆動型」の医学・医療ととらえ、健康管理・疾病管理・寿命延伸にインパクトが与えるような生命情報の収集方式、およびそれを有効に活用できる医療のあり方、実践体制について解説した。

<目次>

1. ゲノム医学の基礎知識 / 2. 第一世代の網羅的分子医学としてのゲノム医療 / 3. ゲノム情報以降の網羅的分子医療—オミックス医療とシステム分子医学— / 4. 次世代生命情報医学の基礎としての医療情報学 / 5. 次世代生命情報医学への展開 / 6. ビッグデータ・AIによる医学・医療の第三次革命と未来の医学

☆脳波処理とブレイン・コンピュータ・インタフェース

—計測・処理・実装・評価の基礎—

<次世代信号情報処理シリーズ4>

東 広志, 中西正樹, 田中聡久 著

A5判, 218頁

定価3,630円 (本体3,300円+税)

人間の意図または意図のために生成した脳活動を脳計測によって読み取り、本人の意図を外へ伝達する技術であるブレイン・コンピュータ・インタフェース(BCI)のタスク・刺激と出力の関係(パラダイム)や信号処理を解説した。

<目次>

1. 脳波とブレイン・コンピュータ・インタフェース / 2. BCIのための信号処理・解析・パターン認識 / 3. 脳波計測 / 4. 前処理と特徴抽出 / 5. 評価方法 / 6. 事象関連応答によるBCI / 7. 視覚応答によるBCI / 8. 運動関連応答によるBCI

コロナ社

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆内科医・かかりつけ医のためのアルコール使用障害治療ハンドブック

成瀬暢也 編

A5判, 280頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

アルコール使用障害が重症化する前に内科医、かかりつけ医に診て欲しい。アルコール診療の根底を覆す治療ハンドブックが登場。飲酒量低減薬ナルメフェンは必見!

☆リハビリテーション医学

ミニマムベディア

角田 亘 著

B6変判, 184頁

定価2,970円 (本体2,700円+税)

全診療科必携! 基本の知識を最短でマスター!

リハビリテーション医療の基礎知識から診療科ごとの疾患・評価・訓練までコンパクトに網羅。時間がなくても必要なときに知りたい項目をすぐ引ける持ち運びやすいポケットサイズで効率よく勉強したい医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師の方向け。

☆フローチャートコロナ後遺症漢方薬

あなたも今日から診療できる!

新見正則, 和田健太郎 編著

高尾昌樹 監修

B6変判, 136頁

定価3,190円 (本体2,900円+税)

西洋医学の限界を感じたときこそ、漢方の出番!

新型コロナウイルス感染症の後遺症にお悩みの患者さんに漢方薬が役に立つ! 漢方薬があればコロナ後遺症の患者さんのどんな悩みにも対応できます。現場の声にお応えして、どんな症状にどの漢方薬が必要かひとめでわかる大人気フローチャートを緊急出版しました。

☆精神医学領域の論文を読みこなす

キーワード100!

鬼塚俊明, 橋本亮太 編著

B6変判, 280頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

今さら聞けない生物精神の基本中の基本を一気にマスター。

最新の医学論文を読みこなすための基本となる100のトピックを厳選。華麗なる豪華執筆陣が、いま、押さえておくべき基本を徹底レクチャー。大枠を手取り早くつかんで効率的に勉強したい、精神科医のための必携書。

新興医学出版社

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆改訂第2版 最新保健学

公衆衛生・疫学

野尻雅美 監

北池 正 編

B5判, 330頁

定価4,950円 (本体4,500円+税)

2016年発売の『最新保健学－公衆衛生・疫学』の改訂版。1982年刊行の「現代看護学基礎講座」(全9巻)から改訂と増版を重ね、看護師や保健師の養成大学などの教科書として、また健康学の成書として愛用されてきた「最新保健学」。各分野の内容の基本的な部分はそのままに、「国民衛生の動向」などによる最新データへのアップデートを中心に改訂版を発行。今後も深化し続ける保健学の基礎的かつ先進的な教科書。

【好評書】

☆あつという間にうまくなる

神経ブロック上達術 改訂第4版

大越有一, 寺嶋克幸 著

B5判, 276頁

定価7,480円 (本体6,800円+税)

☆がん疼痛患者に対する

脊髄くも膜下鎮痛法

金井昭文 著

B5判, 124頁

定価7,150円 (本体6,500円+税)

真興交易医書出版部

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆慢性活動性EBウイルス病と

その類縁疾患の診療ガイドライン2023

日本小児感染症学会 監

B5判, 80頁

定価3,740円 (本体3,400円+税)

慢性活動性EBウイルス病と類縁疾患 (EBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症, 種痘様水疱症リンパ増殖異常症, 重症蚊刺アレルギー) のガイドライン。2016年版より7年ぶりの改訂。

☆ニーマンピック病C型 (NPC) 診療

ガイドライン2023

日本先天代謝異常学会 編

B5判, 84頁

定価 3,520円 (本体3,200円+税)

厚生省研究班と日本先天代謝異常学会の協働によるエビデンスに基づくガイドライン。先天代謝異常症を専門としていない医師、医療従事者の方々にもお役立ていただきたい。

☆小児心電図テクニカルガイド

改訂第2版

長嶋正實 著

A5判, 116頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

定評ある小児12誘導心電図の入門書。11年振りの改訂版。5万人のサンプルから得られた正常値データを一覽性中心に整理収載。小児心電図の必携書。

診断と治療社

■ 全日本病院出版会 好評の
「明日の足診療」シリーズ ■

「日本足の外科学会」監修の書籍シリーズとして、学会だけでなく書店店頭でも好評なシリーズです。全4巻の予定で、これまでⅠ・Ⅱ・Ⅲ巻が発売されています。

<主な読者対象>
整形外科医、理学療法士、トレーナーなど
☆明日の足診療シリーズⅠ

足の変性疾患・後天性変形の診かた
定価9,350円（本体8,500円＋税）

日本足の外科学会監修シリーズ第1弾。足の外科診療で日常遭遇することが多い変性疾患・後天性変形について特集。日本足の外科学会の評議員を中心とした、各分野のトップランナーの医師たちが、足の診療の総論から診断、代表的な手術方法まで解説！

☆明日の足診療シリーズⅡ

足の腫瘍性病変・小児疾患の診かた
定価9,900円（本体9,000円＋税）

日本足の外科学会監修シリーズ第2弾。「腫瘍性病変」では整形外科だけでなく、放射線科、病理の観点から各疾患をコンパクトにまとめ、特徴的所見をサッと確認できる。「小児疾患」では診療、検査をはじめ、各疾患を豊富な写真、イラストとともに解説！

☆明日の足診療シリーズⅢ

足のスポーツ外傷・障害の診かた
定価9,350円（本体8,500円＋税）

日本足の外科学会監修シリーズ第3弾。スポーツに起因する足の疾患を完全網羅！エキスパートによる疾患や最新研究の解説だけでなく、プロ・アマ問わず患者に寄り添う治療法、その決定の仕方も紹介！

■ 全日本病院出版会
その他の「足」の好評書 ■

<主な読者対象> 皮膚、糖尿病、整形、形成、看護師、シューフィッター

☆足の総合病院・下北沢病院がおくる！

ポケット判 主訴から引く足の
プライマリケアマニュアル

定価6,380円（本体5,800円＋税）

他社一般書で有名な「下北沢病院医師団」が医療者向けに特化してまとめた本書。最初の問診で確認すべきこと、行った方がよい検査など、随所に「下北沢病院流」がちりばめられており、ポケットに必携の1冊。

2021年日本フットケア・足病医学会 1位
全日本病院出版会

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆最新主要文献とガイドラインでみる

整形外科学レビュー 2023-24

竹下克志 編

AB判、300頁

予価13,200円（本体12,000円＋税）

研究者必携の「レビューシリーズ」の1冊。

☆最新ガイドラインに基づく

消化器疾患 診療指針 2023-24

中島 淳 編

B5判、360頁

予価11,000円（本体10,000円＋税）

大好評の「診療指針シリーズ」の1冊。

☆最新ガイドラインに基づく

皮膚科疾患 診療指針 2023-24

石河 晃 編

B5判、350頁

予価11,000円（本体10,000円＋税）

「診療指針シリーズ」に新たに加わりました。

☆『救急・集中治療』第35巻第1号

特集「エキスパートに学ぶ

重症感染症への対応

—研修医からの質問400—

B5判、300頁、4色刷

予価11,000円（本体10,000円＋税）

「研修医からの質問」特集が、好評です。

☆『小児科臨床』第76巻第2号

特集「小児科学レビュー

—アレルギー疾患ほか—

A4判、180頁、2色刷

定価7,700円（本体7,000円＋税）

海外の最新主要文献が、ひと目でわかる特集が、好評です。

総合医学社

■ 新刊のご案内 ■

☆心臓血管外科手術虎の巻

山口敦司 編著

B5判, 332頁

定価11,000円 (本体10,000円 + 税)

各種手術を安全に行うためのコツから術後管理まで心臓血管手術のすべてを1冊で学べる! これから心臓血管外科の修練を控えているすべての若手医師に! 自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科が受け継いできた秘伝の基本手術マニュアル、TAVIやTEVAR・MICS手術など基礎から難易度の高い術式まで網羅。著者らが描いた詳細なイラストで手技のポイントがよくわかる!

☆ICU思考のつくりかた

川上大裕 編著

Minatojima ICU Good Fellas 著

A5判, 240頁

定価4,840円 (本体4,400円 + 税)

ICUでの急変対応から蘇生後の管理までを7日間の研修形式で学ぶ!

神戸市立医療センター中央市民病院のICUで毎朝行われている教育回診の内容をベースに構成された病棟回診マニュアル。7日間の短期研修に参加しているような感覚で読むことができ、ICUでよく遭遇する疾患や心肺蘇生後、術後管理などを中心にベッドサイド回診で出会う具体的なケースを挙げながら、指導医と研修医の会話形式も交えてわかりやすく解説。

☆よくわかる精神科治療薬の考え方, 使い方 4版

大森哲郎 編著

A5判, 274頁

定価4,180円 (本体3,800円 + 税)

精神科薬物療法の基本を診療の実際に即して優しく学べる好評書が8年ぶりに改訂!

精神科における的確な薬物治療を行う上でどの薬剤を選択し、どのように使えばよいのかを平易に解説した書の改訂4版。疾患のポイントや薬物療法の成否のカギを握る患者・家族に対する説明など、できるだけ具体的に解説している。今回はWHOから公開された新たな診断基準 (ICD-11) を踏まえ、新薬や既存薬の適応追加などを盛り込み、全体をアップデートした。精神科医だけでなく、精神科医療に携わる医療職の学習の一助となる一冊。

中外医学社

■ 2023年年間定期購読のご案内 ■

☆周産期医学 53巻

周産期医学編集委員会 編

定価51,590円 (本体46,900円 + 税)

通常号11冊, 増大号1冊, 増刊号1冊

☆腎と透析 94巻95巻

腎と透析編集委員会 編

定価50,600円 (本体46,000円 + 税)

通常号10冊, 増大号2冊, 増刊号1冊

☆小児内科 55巻

小児内科編集委員会 編

定価53,240円 (本体48,400円 + 税)

通常号11冊, 増大号1冊, 増刊号1冊

☆小児外科 55巻

小児外科編集委員会 編

定価49,280円 (本体44,800円 + 税)

通常号12冊, 増刊号1冊 (小児内科と共通)

☆JOHNS 39巻

JOHNS編集委員会 編

定価40,260円 (本体36,600円 + 税)

通常号11冊, 増大号1冊

☆消化器内視鏡 35巻

消化器内視鏡編集委員会 編

定価54,120円 (本体49,200円 + 税)

通常号11冊, 増大号1冊, 増刊号1冊

東京医学社

■ 好評につき、続刊決定！ ■

ICD-11に完全対応、新世代の精神科シリーズ

☆講座 精神疾患の臨床

第8巻 神経発達症群

定価19,800円（本体18,000円＋税）

第9巻 物質使用症又は嗜好行動症群

性別不合

定価19,800円（本体18,000円＋税）

松下正明 監修

神庭重信 編集主幹

池田 学、笠井清登、久住一郎、

齋藤正彦、三村 将、村井俊哉 編
(50音順)

B5判、320～520頁、2色刷、上製

<シリーズの構成>

①気分症群

定価16,500円（本体15,000円＋税）

②統合失調症

定価16,500円（本体15,000円＋税）

③不安または恐怖関連症群 強迫症

ストレス関連症群 パーソナリティ症

定価17,600円（本体16,000円＋税）

④身体的苦痛症群 解離症群 心身症

食行動症または摂食症群

定価17,600円（本体16,000円＋税）

⑤神経認知障害群

定価17,600円（本体16,000円＋税）

⑥てんかん 睡眠・覚醒障害

定価18,700円（本体17,000円＋税）

⑦地域精神保健 リエゾン精神医療・

精神科救急医療

定価18,700円（本体17,000円＋税）

【続刊】

⑧神経発達症群

定価19,800円（本体18,000円＋税）

⑨物質使用症又は嗜好行動症群

性別不合

定価19,800円（本体18,000円＋税）

中山書店

■ 新刊のご案内 ■

☆今日の治療薬2023—解説と便覧

川谷眞一、伊豆津宏二、今井 靖、
桑名正隆、北村正樹、寺田智祐 編
B6判、1,440頁

定価5,280円（本体4,800円＋税）

臨床で使われる医薬品を薬効群ごとに
解説と便覧で構成したベストセラー。

☆腎疾患・透析最新の治療2023-2025

山縣邦弘、南学正臣 編

B5判、400頁

定価9,900円（本体9,000円＋税）

腎疾患治療・透析の最新情報と治療方
針を掲載。

☆皮膚疾患最新の治療2023-2024

高橋健造、佐伯秀久 編

B5判、312頁

定価9,020円（本体8,200円＋税）

皮膚疾患の最新の知見、治療に関わる
トピックスをわかりやすく解説。

☆感染対策はこわくない！

—ICT初心者のための必携対応マニュアル

中村 造 著

A5判、248頁

定価3,630円（本体3,300円＋税）

COVID-19の流行を受け、改めて適切な
対応が求められている院内感染対策につ
いて、わかりやすく解説。

☆すぐ見て・すぐわかり・すぐ使える

眼科薬剤処方

谷戸正樹 編

A5判、328頁

定価4,400円（本体4,000円＋税）

眼科診療のあらゆる場面を想定し必要
な薬剤情報を解説した、眼科に携わる全
スタッフの“新”必携書。

南江堂

■ 好評書のご案内 ■

☆ポケット医薬品集 2023年版

龍原 徹 監修

澤田康文, 佐藤宏樹 著

B6変判, 1,485頁

定価5,170円 (本体4,700円+税)

最新情報を反映した2023年版! 独自の視点で薬剤選択, 薬物療法管理に必須の情報を整理. 日常診療・薬剤業務に強い味方となる一冊.

☆とことん極める! 腎盂腎炎

長野広之, 徳田嘉仁 編

B5判, 221頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

日常診療で考えない日はないと言ってよい腎盂腎炎. それを極められれば日々の発熱診療も得意になれるはず!

☆これが私の小児整形外科診療

適切な診療への道しるべ

改訂2版

西須 孝 著

B5判, 356頁

定価8,250円 (本体7,500円+税)

小児整形外科に携わってきた著者が見出した体系化された外来診療のノウハウを余すところなく披露し, 読めばその思考・技法を体得できる実践書.

☆Evidence Update 2023

最新の薬物治療のエビデンスを

付加的に利用する

名郷直樹 編

B5判, 206頁

定価2,420円 (本体2,200円+税)

毎年積み重なっていく情報から, 治療薬について新しく追加された重要なものを厳選し, 整理し, わかりやすくまとめた一冊.

南山堂

■ 新刊のご案内 ■

☆診療所経営の教科書<第3版>

大石佳能子 監修

小松大介 著

B5変判, 274頁, カラー

定価5,170円 (本体4,700円+税)

コロナ禍で激変した医療環境を「見える化」—最新の統計データに基づく全面改訂版.

自院が10年後, 20年後も生き残るためにはどうすればよいか? 詳細な市場分析と将来予測に基づく診療所の生き残り戦略を提示しました.

☆ステロイド治療戦略<新装改訂版>

岩波慶一 編

A5判, 356頁, カラー

定価5,280円 (本体4,800円+税)

『jmedmook63 ステロイド治療戦略』が書籍化! 「最小限の副作用で, 最大限の効果を得る」というコンセプトはそのまま, 最新のエビデンスや知見を反映し, 内容をアップデート. 新たに6つの疾患を項目に加え, より充実した1冊となりました.

☆jmedmook83 救急外来での検査値の

読み方 ルーチンを超えろ!

薬師寺泰匡 著

B5判, 184頁, カラー

定価3,850円 (本体3,500円+税)

救急の現場においてルーチン化された検査, プロトコル化した診療に物申す! 検査値の意義や, 検査結果をどのように臨床診断や方針決定に活かすかという過程を重視し, 検査結果を実臨床にどのように落とし込んでいくのかという, 検査の意義やプロセスが分かります.

日本医事新報社

■ 好評書のご案内 ■

- ☆「看護管理」実践Guide
看護師長・主任が育つ
個人の成長がみえる12の実践事例
佐藤エキ子, 佐藤紀子 編著
B5判, 146頁
定価2,750円 (本体2,500円+税)
- ☆シリーズ看護の知
わが子のケアの達人になる
「医療的ケア児」のママたちの奮闘
草野淳子 著
A5判, 128頁
定価2,750円 (本体2,500円+税)
- ☆Nursing Todayブックレット・19
孤独と孤立 自分らしさと人との
つながり
松本俊彦 編
國分功一郎, 大空幸星, 吉川 徹,
松本俊彦, 横山美江 著
A5判, 64頁
定価990円 (本体900円+税)
- ☆シリーズ看護の知
進行がんを患うひとが語る「死」
川端 愛 著
A5判, 128頁
定価2,750円 (本体2,500円+税)
- ☆40代・50代から考える
キャリア後期に向けた
看護職人生の組み立て方
資産・生活設計・働き方
濱田安岐子 編
B5判, 144頁
定価2,750円 (本体2,500円+税)
- ☆もしものときにすぐ動ける
応急処置52シーン
事故・災害時, 駅・路上・旅行先・
イベント会場など, どんな場面でも
三上剛人, 田口裕紀子 編
新書判, 200頁
定価1,540円 (本体1,400円+税)
- ☆災害現場でのトリアージと応急処置
第3版
山崎達枝 編
A5判, 184頁
定価2,970円 (本体2,700円+税)

日本看護協会出版会

■ 新刊・好評書のご案内 ■

- ☆わかりやすい内科学 第5版
井村裕夫 他編
B5判, 1,016頁, 2色刷
定価11,000円 (本体10,000円+税)
内科学のエッセンスを「わかりやすく」
解説した定番の医療スタッフ向け内科学
テキスト. 第5版改訂にあたり, 少子高齢
化や新しい感染症の広がりなど大きく変
化する社会情報を踏まえ, 関連領域の記
載をアップデートした.
- ☆生理学テキスト 第9版
大地陸男 著
B5判, 560頁, 4色刷
定価6,050円 (本体5,500円+税)
医・薬学系学生向けの生理学教科書の
定本. 人体機能全般を体系的に扱った,
生理学を学ぶすべての学生に役立つ内容.
第9版改訂にあたり, 「感覚系」と「腎機
能」の章をより理解しやすいように整理・
再構成している.
- ☆麻酔科トラブルシューティングAtoZ
第2版
高崎真弓 他編
B5変判, 656頁, 2色刷 (一部4色刷)
定価17,600円 (本体16,000円+税)
麻酔科トラブルの対処法を分かりやす
く解説した, 臨床麻酔科学のロングセラー
の改訂第2版. 約300項目の術前・術中・
術後の疑問やトラブルについて, 第一線
で活躍する麻酔科医が解説. 診療に直結
する解答ならびに必要な知識を速やかに
得ることができる構成.
- ☆〈非腫瘍性疾患病理アトラス〉腎
大橋健一 他編
B5変判, 436頁, 4色刷
定価19,800円 (本体18,000円+税)
800点以上の写真で腎生検病理診断の基
本となる所見の取り方と鑑別診断が身に
つく一冊. 病理・臨床双方の所見から総
合的に病態を理解できるように誌面を構
成し, 主な疾患と鑑別診断の「見るべき
ポイント」を丁寧に解説.

文光堂

■ 好評書のご案内 ■

☆ナースのための くすりの事典2023

細谷 治 編

安野伸浩, 渡部多真紀, 光永義治,

大竹三保, 石田耕太 執筆

A5判, 732頁, 上製

定価 5,280円 (本体4,800円+税)

〈今年もやっぱりこの1冊!〉

『ナースのための くすりの事典』は2023年版で33年を迎えました。本年度版より、日本赤十字社医療センター薬剤部部長・細谷治先生に編集を、帝京大学医学部附属病院薬剤部・安野伸浩先生、渡部多真紀先生、光永義治先生、大竹三保先生、日本赤十字社医療センター薬剤部・石田耕太先生に執筆をご担当いただいています。

類書にない大きな特徴「看護のポイント」と「患者・家族への指導のポイント」。ナースが本当に知りたいことが載っている、困っていることに応えてくれるとご好評をいただいております。

「一般名」か「商品名」かが一目でわかる索引、症状・病態から必要な薬を探し出せる「薬効別分類38項目」、先発医薬品を色分けし、後発薬との判別がすぐできるなど、使いやすく、見やすい工夫をしています。

へるず出版

■ 新刊のご案内 ■

☆耳科学アトラス ー形態と計測値ー 第5版

野村恭也, 原田勇彦, 奥野妙子,
平出文久, 小林一女, 木村百合香 著

B5判, 358頁

定価24,200円 (本体22,000円+税)

「耳科学分野の古典」が6年ぶりに大改訂!

☆カールソン神経科学テキスト

ー脳と行動ー 原書13版

Neil R. Carlson, Melissa A. Birkett 著

中村克樹 監訳

B5判, 804頁

定価19,800円 (本体18,000円+税)

知の巨人カールソン 神経科学の世界的名著

【極めに・究める・リハビリテーション】

☆シリーズ 極めに・究める・歩行と姿勢

相澤純也 監修

大沼 亮 著

A5判, 176頁

定価3,850円 (本体3,500円+税)

リハの定番、歩行と姿勢が1冊で学べる!

■ 好評既刊 ■

☆睡眠専門医がまじめに考える

睡眠薬の本

河合 真 著

立花 直子 編集協力

A5判, 152頁

定価3,850円 (本体3,500円+税)

睡眠薬処方を・考えるときに・まず読む本!

☆【極論で語る】シリーズ

極論で語る腎臓内科 第2版

今井直彦 著

香坂 俊 監修

龍華朱音 イラスト

A5判, 294頁

定価3,850円 (本体3,500円+税)

腎臓内科の【極論】を7年ぶりに大改訂!

丸善出版

■ 新刊のご案内 ■

☆＜PT・OTのための測定評価シリーズ＞

1 ROM測定 第3版

伊藤俊一 監修

遠藤達矢 編

B5判, 144頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

第3版では「関節可動域表示ならびに測定法改訂について(2022年4月改訂)」に基づいて加筆し、見やすい構成はそのままにリニューアルを行った。

測定評価において、正しく再現性の高い技術はセラピスト(療法士)の必須条件である。評価に始まり評価に終わるとされる臨床の場で、実践的に使用できる必携書である。

※今回の改訂で、前版まで付属DVDに収めていた映像がWeb配信になるに伴いシリーズ名が変わります。

☆あなたもはまるDIC

一まったく新しいDIC学への誘い

丸藤 哲 著

B5判, 324頁

定価5,940円 (本体5,400円+税)

わかったようでよくわからない播種性血管内凝固症候群(DIC)をまさに快刀乱麻を断つごとく、明解・簡潔に解説したのが本書です。DIC学という学問体系を熱く語り、毎日の臨床に直結する最新の知識を満載しました。豊かかつ色彩豊かな図表が本文の理解を助け、三百を超えるPoint解説が理解を深めます。

☆町田志樹の聴いて覚える解剖学

循環器・呼吸器+心電図 編

町田志樹 著

A5判, 132頁

定価2,200円 (本体2,000円+税)

解剖学の知識を効率よく覚えられると好評の「聴いて覚える解剖学シリーズ」第三弾!今回は身体理解に欠かせない循環・呼吸について、膨大な情報の中から「試験に出て」「臨床でも必須」の知識を厳選してまとめました。初学者がまずきやすい心電図や生理学についても、コラムで丁寧に解説しています。音声・動画つきなので、タブレットやスマホ学習にも便利です。覚える事が多くて困っている人、いちど徹底的に解剖学の基礎を頭に叩き込みたい人に最適です!

三輪書店

■ 新刊のご案内 ■

☆外来で鑑別診断に困ったら

季節をヒントに皮膚を診る

矢上晶子 編

B5判, 272頁, オールカラー

定価5,500円 (本体5,000円+税)

季節ごとに外来で出会う可能性の高い疾患を取り上げた、皮膚科を専門としない開業医・勤務医向けの書籍。患者指導や薬剤の処方例および専門医への紹介のタイミングなどについても明記。

☆はじめましてのPET/CT

村上康二, 鳥井原彰, 岩渕 雄 編

B5判, 200頁, オールカラー

定価7,700円 (本体7,000円+税)

PET検査の主流であるFDG PET/CTについて、はじめて学ぶ放射線科医および放射線技師を対象とした入門書。検査の流れから頻度の高い疾患の撮像法と画像診断のコツを部位ごとに解説。

☆臨床的骨盤腹膜解剖から考える

よくわかるTLH

松本 貴 著

B5判, 140頁, オールカラー

定価8,800円 (本体8,000円+税)

内視鏡手術を正確に行うために重要な「膜間解剖の理解」とTLHの基本的な手術手技を第一人者である著者の理論により初学者向けに解説した書籍。

☆トータルアスリートサポート

坂田 淳, 橋内基純 編

山崎哲也 監

B5判, 360頁, 2色刷

定価5,940円 (本体5,400円+税)

代表的なスポーツ障害における治療の実践方法をPT・AT・S&Cがそれぞれどのように携わっているのかを時系列ごとに解説。一人の患者に対する治療において、それぞれの職種相互理解・意思伝達に必携の一冊。

メジカルビュー社

■ 新刊のご案内 ■

☆メディカのセミナー濃縮ライブシリーズ

Dr.菊田のキラリと見逃さない！
脳外術後の正常経過と異常発見
難しい術後のケアポイントが
きっちり おさえられる！

菊田健一郎 著

A5判, 240頁

定価3,520円 (本体3,200円+税)

脳神経外科ナースが絶対に知っておきたいポイントを、術後の内容に絞って事例ベースで解説。かわかる頻度の高い主要5疾患を取り上げ、「何か変」に気づくための観察・アセスメント力UPに必須の知識をわかりやすく紹介。

☆YORi-SOU がんナーシング別冊

がん化学療法の薬-抗がん剤・
ホルモン剤・分子標的薬・免疫
チェックポイント阻害薬・支持療法薬
-はや調ベノート2023・2024年版
すぐに使える ケアのポイント
ミニブック付き

上野 誠, 古瀬純司 監修

B5判, 392頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

好評書「がん化学療法の薬はや調ベノート」の最新版！がん治療に使う薬剤は、日々その情報が更新される。その要点だけをわかりやすくまとめた。新薬はもちろん、追加適応や副作用情報なども更新。患者指導にスタッフ教育に大活躍！

☆NEWはじめての透析看護

“なぜ”からわかる、ずっと使える！

北村健一郎 監修

富樫たつ子 編

B5判, 160頁

定価2,970円 (本体2,700円+税)

大人気「はじめての」シリーズがパワーアップ！透析看護の必須知識を、豊富なビジュアルで解説。ケアの根拠だけでなく、安全な透析の手技や知識がわかる。治療・看護の要点が詰まった復習・指導用テキストにもおすすめの一冊。

メディカ出版

■ 新雑誌・新刊のご案内 ■

救急に関わるすべての医療者のための
総合誌

☆BeyondER (ビヨonder) Vol.1-No.1

特集1：働き方改革の本質と戦略

特集2：ショック

～最速介入のための認知力と

確かな対応力を身につける～

小倉崇以, 佐藤信宏, 園生智弘,
舩越 拓, 山内素直, 山上 浩
責任編集

志賀 隆 編集顧問

A4変判, 150頁

1部 定価3,520円 (本体3,200円+税)

2023年1月創刊！

●隔月刊 (年6回発売)

- とくに救急担当医 (救急外来にかかわる各科専攻医, 指導医, 初期研修医), 救急医 (救急科専攻医), 救急系医療従事者 (救急救命士, 救急看護師) のみなさまに, おすすめください。

☆その症状は こう読み解く！

臨床に役立つ神経解剖のツボ

上田剛士 監訳

B5変判, 352頁

定価5,720円 (本体5,200円+税)

- コモンな神経疾患/神経症状の診療に苦手意識をもつ研修医, 臨床医に贈る実地テキスト。
- 前半ではシェーマとコンパクトな説明文による臨床に役立つ神経解剖を解説。後半では厳選された25 症例を提示し, 前半で得た知識にもとづいた神経疾患/神経症状の診察法とその考え方が身につく。
- 神経局在診断のカギを提示し, 「neurophobia (ルビ: 神経嫌い)」を払拭する書。

MEDSi

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆先生、病棟で急変です！

当直コールの対応、おまかせください！

藤野貴久 著

A5判, 254頁

定価3,960円（本体3,600円＋税）

ありそうでなかった、病棟当直の対応に特化した研修医必見の一冊！各病態を緊急度別に分け、会話形式で当直を振り返りながら解説。レジデントノート誌の好評連載を書籍化

☆あらゆる症例に対応できる！

消化器がん薬物療法第3版

標準治療から難渋例の対応まで

患者一人ひとりにベストな治療がわかる

室 圭, 加藤 健, 池田公史 編

B5判, 487頁

定価6,380円（本体5,800円＋税）

最新情報を踏まえた標準治療から、複雑な合併症・副作用が悩ましい難渋例まで対応できるようになる！症例別の解説で病態ごとの対応が具体的にわかる、持ってて安心の1冊。

☆実験医学別冊

もっとよくわかる！腫瘍免疫学

発がん～がんの進展～治療 がん免疫

応答の変遷がストーリーでわかる

西川博嘉 編

B5判, 167頁

定価5,500円（本体5,000円＋税）

がんと免疫の関わりを「発がん」から「治療」まで時系列で追う学びやすい章立てにより、腫瘍免疫学が体系的にわかる入門書。免疫療法に携わる臨床医の方にもオススメ。

羊土社

■ 新刊・近刊のご案内 ■

☆デジタル 内科学

矢崎義雄, 小室一成 総編集

オンライン版シングルライセンス

定価22,000円（本体20,000円＋税）

先日刊行の「朝倉内科学」第12版を底本としたトピック単位で読むウェブ版。第12版の本文・付録を完全収録。スマホ・タブレット等での閲覧に最適化しており、J-OSLERの症例・症候群の検索ができるなどオンライン事典としても活用できます！

☆臨床試験の事典

丹後俊郎, 松井茂之 編

A5判, 592頁

定価16,500円（本体15,000円＋税）

研究デザインや統計手法に関する重要なキーワードを見開き2～4頁で解説。豊富な事例とともに臨床試験の全体像を理解できる。

☆歴史から読み解く ワクチンのはなし

—新たなパンデミックに備えて—

中山哲夫 著

A5判, 208頁

定価2,860円（本体2,600円＋税）

私たちの命と健康を守るために欠かせないワクチンを、ウイルス学の専門家がわかりやすく解説。

☆疫学の事典

日本疫学会 監

三浦克之, 玉腰暁子, 尾島俊之 編

A5判, 612頁

定価16,500円（本体15,000円＋税）

疫学・臨床研究の重要なキーワード約230件を網羅し、見開き2～4頁で実践的に解説した事典。

朝倉書店

■ 新刊のご案内 ■

☆京都ERポケットブック 第2版

洛和会音羽病院救命救急センター・

京都ER編

宮前伸啓 責任編集

荒 隆紀 執筆

A6判, 528頁

定価4,180円(本体3,800円+税)

救急診療のバイブルとして、ぜひ白衣のポケットに！ ER研修の壁を乗り越えるサポーターとして、上級医の頭の中を言語化してコンパクトにまとめるという趣旨はそのままに、第2版では日々の臨床の中で研修医との対話を通じて浮かび上がった皆が躓くERでのポイントを意識して改訂。主訴別アプローチは文字+イラスト+フローで図示し、緊急性の高い病態対応をイメージ化し捉えやすくした。

☆臨床検査データブック 2023-2024

高久史磨 監

黒川 清, 春日雅人, 北村 聖,

大西宏明 編

B6判, 1,200頁

定価5,500円(本体5,000円+税)

全医療職者のための臨床検査値判読マニュアル。検査項目を詳解し、異常値のなぜ？に答える。“考える検査”をサポートするため、読みやすさと使いやすさを徹底追求。「パニック値」「異常値のメカニズムと臨床的意義」「見逃してはならない異常値」「特定背景のある患者の検査値変動」「薬剤の影響」「患者指導」をすぐひけるきめ細かい構成。疾患名から診断・経過観察に必要な検査がわかる「疾患と検査」も拡充。

☆医療福祉総合ガイドブック 2023年度版

NPO法人

日本医療ソーシャルワーク研究会 編

A4判, 328頁

定価3,630円(本体3,300円+税)

医療福祉関係者必携。医療福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説。最新情報のフォロー、解説の見直しでさらに理解しやすい内容に、全国共通で利用頻度の高い制度から地域で異なるサービスまで幅広く網羅！

医学書院

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆当直医マニュアル2023 第26版

井上賀元 編集代表

A6変判, 992頁

定価5,720円(本体5,200円+税)

- 「シリーズ累計30万部」突破！
- 30年を超えて読み継がれる、救急・応急診療マニュアルの決定版。
- 臨床研修医の必修事項を完全収載。
- 第一線の医療をになう当直医に真に必要な情報を取捨選択し、胸ポケットに入る携行サイズにまとめたユニークなマニュアル。
- 今版では、「救急隊との連携」「クリニカル・オンコロジー」の2項目を新たに追加。
- 最新のガイドライン・指針を反映するなど、全章全ページにわたり掲載の内容をアップデート。
- 全項目にわたり、冒頭【ポイント】(当直必須知識やピットフォール)と末尾【disposition】(入退院の判断や集中治療管理の必要性)を記載。

☆日本食品成分表2023 八訂

栄養計算ソフト・電子版付

医歯薬出版 編

A4変判, 306頁

定価1,760円(本体1,600円+税)

- 文部科学省発表の「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」に準拠した最新版！
- よく使う成分項目を左ページにまとめた医歯薬オリジナルのレイアウトで構成。
- 栄養計算に使用する項目列をスッキリ整理。栄養計算がより簡単に！
- わかりやすくして便利な解説や付録が充実。
- 大好評！購入者2大特典「栄養計算ソフト(Excelツール スマート栄養掲載 Ver.9)」 「電子版成分表」付き。

医歯薬出版

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆ザ・パターン・シーカー

—自閉症がいかに人類の発明を促したか
S. バロン＝コーエン 著

篠田里佐 訳

岡本 卓, 和田秀樹 監訳

四六判, 320頁

定価2,640円 (本体2,400円+税)

エジソンやビル・ゲイツらは、数字や記憶は卓越した能力があるのに、他人との交流が難しい自閉症タイプだ。しかし世の中を変える力を持つパターン探しの達人である。発明家の実話、脳科学、遺伝子、進化…人類の歴史を見る。Webサイト立ち読みで1章を公開！

☆DOJIN文庫12

音楽療法はどれだけ有効か

—科学的根拠から探るその可能性

佐藤正之 著

文庫判, 280頁

定価1,100円 (本体1,000円+税)

非薬物療法の一つとして、認知症、失語症、パーキンソン病などの疾患への活用が期待されている音楽療法。各種疾患に対する有効性の検証が進んでいるもの、まだ研究途上にあるものを切り分けながら、最新の知見まで紹介する。

☆DOJIN選書95

20XX年のパンデミック

—致死感染症との闘いから考える

未知のパンデミックへの備え

浦島充佳 著

B6判, 256頁

定価2,090円 (本体1,900円+税)

20XX年、新型ニパウイルス感染症が発生！そのとき何が起きるのか？ 新型コロナウイルスの経験に学び、SARS、エボラ出血熱、ポリオ、天然痘などと闘った医師・研究者たちの物語から考える、「パンデミックX」への備え。

化学同人

■ 新刊・良好書のご案内 ■

☆ビジュアルサージカル

消化器腹腔鏡下手術 上部消化管

上西紀夫 総監修

瀬戸泰之 編

猪股雅史, 島田光生, 海野倫明

編集委員

A4判, 248頁

価格14,850円 (本体13,500円+税)

上部消化管の腹腔鏡下手術を350点以上のイラスト・写真と、2時間30分を超える手術動画で解説。消化器外科医に必須の外科解剖の知識と、手技のコツをシリーズ最大のボリュームで紹介。若手外科医だけでなく、教育担当のベテラン医師も必読の手術書。

☆循環器診療コンプリート 血管疾患

保科克行, 今井 靖 編

加藤雅明 編集協力

B5判, 356頁

定価8,800円 (本体8,000円+税)

若手循環器内科医・心臓血管外科医に必須な血管疾患診療の知識を網羅し、イラストや写真を多用しビジュアルに解説。腎臓内科専門医・脳卒中専門医のアドバイスを全項目に載せ、心・腎・脳連携を意識した新しいタイプの循環器診療の実践書シリーズ。

☆集中治療医学

一般社団法人日本集中治療医学会 編

B5判, 416頁

定価4,400円 (本体4,000円+税)

細胞生物学から免疫学、生理学、侵襲学、生理学に基づく集中治療、そして多職種連携や遠隔医療まで重症患者管理に不可欠な知識を詰め込んだ一冊。コラムや用語解説をふんだんに盛り込み、医学生・研修医のみならず、集中治療に携わる全ての医療者が学べる書。

Gakken

■ 新刊案内 ■

☆目の前の患者からはじまる臨床研究
症例報告からステップアップする思考術
康永秀生 著

A5判, 144頁

定価3,520円 (本体3,200円+税)

臨床研究は日常臨床の症例経験からはじまっている。症例報告の学会発表・論文発表の作法と、症例経験から紡ぎだしたCQを臨床研究に発展させる思考プロセスを徹底解説。

☆患者さんのための

乳がん診療ガイドライン 2023年版

日本乳癌学会 編

B5判, 272頁

定価2,640円 (本体2,400円+税)

乳がん患者さんやそのご家族が、いま知りたいことについて、正しい情報をわかりやすく解説。最新の情報をもとに、65の質問 (Q) に対する回答 (A) と解説を掲載。

☆卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌取扱い規約
病理編 第2版

日本産科婦人科学会, 日本病理学会 編

B5判, 136頁

定価7,150円 (本体6,500円+税)

6年ぶりの改訂版となる本書では、WHO組織分類 (2020年) に基づき内容を一新。高異型度漿液性癌における原発巣決定の解説が追加されたほか、組織図譜も大幅に更新された。

☆ここがポイント!

整形外科疾患の理学療法 第3版

富士武史 監修

B5判, 440頁

定価7,150円 (本体6,500円+税)

臨床で役立つコツやヒントで好評を博した本書がついに改訂。16年の蓄積を反映させ、最新の内容にアップデートした。紙面もフルカラーとなり視覚的な理解が容易となった。

金原出版

■ 新刊書のご案内 ■

☆血液浄化療法ハンドブック 2023

透析療法合同専門委員会 企画・編集
B5判, 468頁

定価6,930円 (本体6,300円+税)

透析技術認定士を目指す「認定講習会・認定試験 (透析療法合同専門委員会・主催)」受講 (験) 者、必携の指定テキストの最新版。年度版で、最新の知識と情報を提供します。

透析技術認定士を目指す臨床工学技士、看護師、准看護師にとっては文字通り必読書ですが、基本をしっかり押さえながら毎年更新され、かつ必須の情報・知識の習得が可能であることから、臨床現場のスタッフにとって知識の確認や新たな学習の参考書としても有用です。

☆「日常言語」のリハビリテーションのために

一失語症と人間の言語を
めぐる基礎知識一

佐藤公治 著

A5判, 220頁

定価3,300円 (本体3,000円+税)

「失語症」をテーマとする世界の主要な研究の成果から、言語障害リハビリテーションに密接に関わる諸問題を抽出し、その内容をわかりやすく解説しています。

特に言語の使用に関わる言語学的、認知科学的な解説にスポットを当てた、類書にはないユニークな個性を持った一冊です。

言語治療に携わる医師や言語聴覚士にとってはもちろん、失語症を有する感覚・運動障害のリハビリテーションに携わる理学療法士、作業療法士にとっても示唆に富む内容です。

協同医書出版社

■ 新刊・好評書のご案内 ■

☆医用放射線辞典 第6版

医用放射線辞典編集委員会 編

B6判, 912頁

定価10,780円 (本体9,800円+税)

診療放射線技師を目指す学生を対象に基礎から臨床まで国家試験ガイドラインに準拠して編集した用語辞典. 第6版では, 変遷するカリキュラムに基づいて全面的に改訂した.

☆医療系のための入門統計

勝野恵子, 伊藤真吾, 米山泰祐 著

A5判, 248頁

定価2,860円 (本体2,600円+税)

データ分析としての統計学は, 現代社会での基礎知識として重要な役割を占めている. 医療分野でも膨大な検査データや薬物の治験データなど, 統計学が活躍する場面は非常に多い. 実際の現場は解析ソフトを使うことがほとんどだが, 正しく運用するためには統計学に関する数学的な理解が必要不可欠である. そこで本書は高校～大学教養程度の数学のトピックも積極的に記述し, 理論的な根拠に基づいた知識を身につけられるように執筆した. 例題や演習には医療系の問題を豊富に用意し, 医療系の学生が無理なくステップアップを図れるよう配慮した.

共立出版

腎臓症候群(第3版)

—その他の腎臓疾患を含めて—



特 長

1. 2012年発刊の腎臓症候群(第2版)上・下から発刊から10年間の腎臓疾患の診断治療の進捗につき、それぞれで専門の先生方に解説いただきました。
2. I巻では糸球体疾患、尿細管疾患、腎血管系疾患などを取り上げています。
II巻では先天性・遺伝性腎疾患、嚢胞性腎疾患、腫瘍性腎疾患などを取り上げています。
III巻では各種病態・疾患にみられる腎障害を取り上げています。
IV巻では保存期腎不全、急性腎障害、維持透析患者にみられる病態、中毒性腎障害などを取り上げています
3. 薬剤師など医師以外のメディカル・スタッフで腎臓疾患の診療に携わる医療従事者にも役立つ内容になっています。
4. ご利用に便利な「邦語・欧語索引」を付け事典的な機能も兼ね備えました。

I 2022年8月発行
B5判・64項目
定価(本体18,000円+税)

序文

- I AKIとCKD
- II 糸球体疾患
- III 尿細管間質性腎症
- IV 腎血管系障害
- V 尿細管輸送異常症

II 2022年9月発行
B5判・83項目
定価(本体20,000円+税)

序文

- VI 先天性・遺伝性腎疾患
- VII 嚢胞性腎疾患
- VIII 腫瘍性腎疾患

III 2022年10月発行
B5判・92項目
定価(本体20,000円+税)

序文

- IX 各種病態にみられる腎障害

IV
2022年11月発行
B5判・83項目
定価(本体20,000円+税)

序文

- X 保存期腎不全
- XI 急性腎障害の病態
- XII 維持透析患者にみられる病態
- XIII 中毒性腎障害(薬物性腎障害、化学物質による腎障害)

XIV その他

XV 補遺

日本臨牀

増刊号

小腸疾患

—診断・治療の最新動向—

特 長

1. 小腸の各種疾患についての診断・治療の最新情報を、それぞれご専門の先生方に解説いただきました。
2. 診断・治療の総論と各疾患の診断と治療等を取り上げています。
3. 薬剤師など医師以外のメディカル・スタッフで小腸疾患の診療に携わる医療従事者にも役立つ内容になっています。
4. ご利用に便利な「邦語・欧語索引」を付け事典的な機能も兼ね備えました。

序 文

I 総論

II 診断法

III 治療法

IV 各 論

2022年7月発行 B5判・97項目 定価(本体22,000円+税)

株式会社 日本臨牀社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル7階 TEL(03)6841-4549 FAX(03)6841-4558
E-mail info@nippon-rinsho.co.jp URL http://www.nippon-rinsho.co.jp

SCSK2212-00-00

日本臨牀

増刊号

COPDと気管支喘息,その周辺疾患

—病態・診断・治療の最新動向—

特 長

1. COPDと喘息を中心に診断・治療の最新情報を、それぞれで専門の先生方に解説いただきました。
2. 総論、診断へのアプローチ、治療と管理治療、病態の最新情報等を取り上げています。
3. 薬剤師など医師以外のメディカル・スタッフでCOPDや喘息の診療に携わる医療従事者にも役立つ内容になっています。
4. ご利用に便利な「邦語・欧語索引」を付け事典的な機能も兼ね備えました。

序 文

- | | |
|-------------------|------------------------|
| I 総論(COPDと気管支喘息) | VI COPDの治療と管理 |
| II COPD総論 | VII 喘息の治療と管理 |
| III 気管支喘息総論 | VIII COPD病態 up-to-date |
| IV COPD 診断へのアプローチ | IX 喘息病態 up-to-date |
| V 喘息 診断へのアプローチ | X COPD・喘息の周辺疾患 |

2022年6月発行 B5判・100項目 定価(本体22,000円+税)

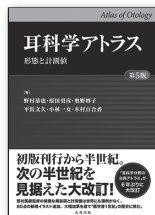
株式会社 **日本臨牀社** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル7階 TEL(03)6841-4549 FAX(03)6841-4558
E-mail info@nippon-rinsho.co.jp URL <http://www.nippon-rinsho.co.jp>

COZK2212-00-00

耳科学アトラス ―形態と計測値― 第5版

野村 恭也・原田 勇彦・奥野 妙子・平出 文久・小林 一女・木村 百合香 著
B5判・358頁 定価24,200円(税込) ISBN978-4-621-30783-0

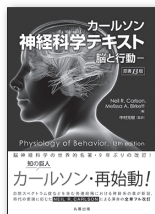
初版刊行から半世紀を目前に「耳科学分野の古典」が大改訂！精緻な線描画と計測値で耳の構造をひも解く。80点の新規イラスト追加、解説も大幅に加筆し、耳科学分野の英知を集める新生アトラスとなった。



カールソン神経科学テキスト―脳と行動― 原書13版

Neil R. Carlson・Melissa A. Birkett 著 中村 克樹 監訳
B5判・804頁 定価19,800円(税込) ISBN978-4-621-30765-6

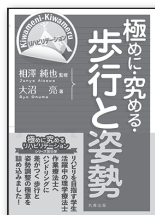
ヒトのさまざまな行動に脳はどのように関与し、いかに脳機能と情動が人間の振る舞いに影響を与えるのか。知の巨人カールソンによる神経科学の世界的名著の改訂版。脳科学に関わる人は一度は読むべき体系的テキスト。



【極めに・究める・リハビリテーション】シリーズ 極めに・究める・歩行と姿勢

相澤 純也 監修 大沼 亮 著
A5判・176頁 定価3,850円(税込) ISBN978-4-621-30760-1

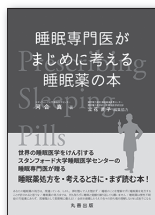
今読んでおけば将来役に立つ！リハビリテーションの従事には必須の「姿勢と歩行」について、姿勢から歩行への一連の機序と適切な介助、ハンドリングの極意を丁寧に解説。PT/OTの学生や若手リハ従事者に最適の教材。



睡眠専門医がまじめに考える睡眠薬の本

河合 真 著 立花 直子 編集協力
A5判・152頁 定価3,850円(税込) ISBN978-4-621-30749-6

睡眠専門医の河合真医師(スタンフォード大学睡眠医学センター)が、睡眠と覚醒のメカニズムや睡眠薬の作用機序を丁寧にひも解き、「不眠症の治療(=睡眠薬の中止)」に至るまでの考え方を解説する。



【極論で語る】シリーズ 極論で語る腎臓内科 第2版

今井 直彦 著 香坂 俊 監修 龍華 朱音 イラスト
A5判・294頁 定価3,850円(税込) ISBN978-4-621-30745-8

「極論で語る」シリーズの中でもよりロジカル、基礎医学領域に依拠した腎臓内科編。「尿所見の見方」「高血圧」「尿路結石」の章を新設し、「極論」を押し進めた大改訂2版！



丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 営業部
TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

みえる!

わかる!

基礎から臨床での考え方で丁寧にビジュアル解説

女性内分泌

編集 **岩瀬 明** 群馬大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 教授
平池 修 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授
太田 邦明 東京労災病院 産婦人科 部長

“大事だけれど難しい”，そんな女性内分泌のメカニズムを基礎から丁寧にビジュアル解説。さらに、「ホルモンの理解と臨床がどう直結するのか」という視点から、各種検査の意義や補充療法の狙いなど、実臨床で有用な考え方やその根拠となる知識もしっかり解説。



定価 **6,050円**
 (本体 5,500円+税10%)
 B5判・260頁・イラスト120点
 ISBN978-4-7583-2127-3

目次

第I章 女性内分泌の基礎知識

- ① ホルモンを学ぶうえでどうしておきたいこと
- ② 視床下部-下垂体-卵巢軸
- ③ 視床下部-下垂体-副腎皮質軸
- ④ 子宮

第II章 いろいろなホルモンについて知る

- ① ホルモンにはどんな種類がある?
- ② ホルモンと受容体
- ③ GnRH - GnIH - ギナドトロピン
- ④ プロラクチン・オキシトシン / 他

第III章 女性内分泌疾患にかかわる症候

- 1 エストロゲン・プロゲステロンによる子宮内膜脱落機転と月経
- 2 消退出血と破綻出血
- 3 OC/LEP 内服時の消退出血
- 4 卵胞期のIMB
- 5 黄体期のIMB
- 6 プロゲステン使用時のIMB
- 7 過多月経のメカニズム
- 8 過少月経のメカニズム / 他

第IV章 投薬療法

- 1 エストロゲン製剤
- 2 黄体ホルモン製剤
- 3 ギナドトロピン製剤
- 4 GnRH アゴニスト
- 5 GnRH アンタゴニスト (注射)
- 6 GnRH アンタゴニスト (経口)
- 7 SERM
- 8 SPRM
- 9 ドーパミンアゴニスト / 他

さらに安全な無痛分娩を行うために、一番わかりやすいガイドブックがアップデート!

図表でわかる

無痛分娩 プラクティスガイド

改訂第2版

Web
動画付

監修 **村越 毅**

聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター産科部長、周産期センター長

著者 **入駒 慎吾**

株式会社 LA Solutions 代表取締役 CEO
一般社団法人 日本無痛分娩研究機構 代表理事

編集協力 **松田 祐典**

埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科 診療部長・准教授

無痛分娩を安全に行うために必要な知識を凝縮したガイドブックが最新情報を反映してアップデート。無痛分娩を初めて行う者が手技を習得するために予習として読めるのももちろん、今まで無痛分娩を行ってきた者にとっても、手技の見直し、および「無痛分娩とはなにか」「無痛分娩をより安全に行うためには」ということへの根本的な理解を助ける書籍である。

改訂にあたっては、危機的合併症、特に「全脊髄くも膜下麻酔」「居所麻酔中毒」についての解説を強化し、また麻酔科医と産科医の分担についてより具体的に記述して「事故を起こさないこと」「トラブルへの対処法」に比重を置いた内容になっている。



定価 **4,950円**
 (本体 4,500円+税10%)
 B5判・184頁
 イラスト8点、写真20点
 ISBN978-4-7583-2141-9

M メジカルビュー社
 MEDICALVIEW <https://www.medicalview.co.jp>

※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。
 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号
 TEL 03(5228)2050 FAX 03(5228)2059
 E-mail eigy@medicalview.co.jp

スマートフォンで
 書籍の内容紹介や目次が
 ご覧いただけます。





最新! 心臓デバイス攻略本

メーカーごとの機能・特徴を押さえたペースメーカ・ICD治療をはじめよう

EP大学 監修 / 小竹 康仁 編著 / 永嶋 孝一 編著 / 岸原 淳 編著

心電図と不整脈を楽しく極めるEP大学監修。ペースメーカ・ICD治療の最新情報について、適応、機能・特徴の要点を押さえ、わかりやすく解説。主要メーカー製のデバイスの機能・特徴一覧付き。最新の高度なデバイス技術が身につく、初学者必携の頼もしい一冊。

定価4,950円(本体+税10%) ●B5判 ●200頁 ISBN 978-4-8404-8148-9



中医学検定 2級・3級公式テキスト

体質を知り、症状緩和・体質改善・身体管理に生かせる!

中医学検定実行委員会 編著 / 今中 健二 編著
呉 小玉 監修 / 永松 周二 監修

中医学の学力検定受講者のための公式テキスト。

3級の基礎理論では、「陰陽五行学説」等中医学の基本を、2級の診断学では、中医学独特の評価・処置法等を解説。Q&A形式で、初心者にもわかりやすく、中医学を学ぶ全ての人に役立つ一冊。

定価3,850円(本体+税10%) ●A5判 ●282頁 ISBN 978-4-8404-8153-3



呼吸ECMOおたすけハンドブック

教科書には載っていない、現場のギモンと実践Tips100

大下 慎一郎 編著

ECMO(エクモ)を使用する医療従事者のちょっとした疑問・雑問100テーマを、総勢68人の専門家がすみずみで解説!教科書には載っていない、現場で頻繁に議論される話題を多く取り上げ、ECMOに精通する医師にも読みごたえのある構成となっている。

定価4,620円(本体+税10%) ●A5判 ●280頁 ISBN 978-4-8404-8149-6



デジタルヘルストrend2023

最先端を走る135社が描く「医療4.0」の現在形

加藤 浩晃 編著

時代の最先端をゆくデジタルヘルス分野の大企業・注目企業・スタートアップ・行政の製品やサービス、取り組みについて一挙公開!アップデートされた「2023」では新たに30社を追加!分野のトップランナーである著者による“2023年のデジタルヘルス予測”も掲載。

定価6,380円(本体+税10%) ●B5判 ●336頁 ISBN 978-4-8404-8170-0

*消費税はお申込み・ご購入時点での税率が適用となります。

2023年 年間購読 予約受付中

BeyondER

ビヨonder

公式サイト



公式マガジン

note



創刊

救急医療の発展と患者の安全を追求する
BeyondER Vol.1 No.1 2022
ビヨonder

働き方改革の本質と戦略



ショック

最速介入のための認知力と確かな対応力を身につける

※著者 船越 拓、佐藤 信宏

救急に関わる
すべての医療者
のための総合誌

2022年 1号
Vol.1 No.1
創刊号
発売!

責任編集

船越 拓
佐藤 信宏

東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 救急外来部門
新潟市民病院 救急科

特集1

働き方改革の本質と戦略

特集2

ショック

～最速介入のための認知力と確かな対応力を身につける～

続刊特集予定

2023年1号 (Vol.2 No.1)

特集1 ドクターカー&ヘリ運用の今を問う
特集2 心肺蘇生～まさかの！ガイドラインが使えないとき、あっても悩むとき～

2023年2号 (Vol.2 No.2)

特集1 救急ルートが多様性とその現実解
特集2 心不全～「っほい」の核心をとらえて、しっかり対応する！～

2023年3号 (Vol.2 No.3)

特集1 経営と運営の“ハザマ”
特集2 外傷～非外傷区でも、ここまで迫れる！ここまでできる！～

2023年4号 (Vol.2 No.4)

特集1 在宅診療にコミットする
特集2 敗血症～GLやエビデンスをふまえた実臨床でのアクションとは～

2023年5号 (Vol.2 No.5)

特集1 国際救急医療
特集2 脳卒中～ココが皆の困りどころ、気になるところ～

2023年6号 (Vol.2 No.6)

特集1 未定
特集2 未定

隔月刊 年間6冊 発行

1部定価 3,520円

(本体3,200円+税10%)

年間購読 がお得です!

年間購読料 19,800円

(本体18,000円+税10%)

※一冊ずつお買い求めいただくのに比べ、約6%の割引 ※送料無料でご希望の送付先にお届け

MEDI

メディカル・サイエンス・インターナショナル

113-0033
東京都文京区本郷1-28-36

TEL 03-5804-6051 https://www.medisi.co.jp
FAX 03-5804-6055 E-mail info@medisi.co.jp

◎ワクチンについて，ウイルス学の専門家がわかりやすく解説。

歴史から読み解くワクチンのはなし —新たなパンデミックに備えて—

中山哲夫 著

【1月新刊】

A5判 / 208頁 定価 2,860円 (本体 2,600円) (10300-7)

〔内容〕感染症とは / ワクチンのメカニズム / ワクチンの礎を築いた先人たち / 現在国内で用いられているワクチン / ワクチンの未来

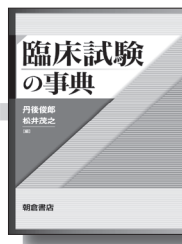
◎豊富な例で臨床試験の全体像を理解できる。

臨床試験の事典

丹後俊郎・松井茂之 編

A5判 / 592頁 定価 16,500円 (本体 15,000円) (32264-4)

研究デザインや統計手法に関する重要なキーワードを見開き2～4頁で解説する。



【1月新刊】

◎疫学の重要キーワード約230件を網羅し，実践的に解説。【1月新刊】

疫学の事典

日本疫学会 監修

三浦克之・玉腰暁子・尾島俊之 編集

A5判 / 612頁 定価 16,500円 (本体 15,000円) (31097-9)

〔目次〕感染症 / 災害 / 環境 / 放射線 / 職業関連疾患 / 社会疫学 / 生活習慣病 / 高齢者・加齢 / 子供と親 / 難病 / 精神保健 / 栄養 / 身体活動 / 睡眠 / 分子・遺伝疫学 / 保健統計・データベース / 研究デザイン / 指標 / リスク予測 / 調査法 / 統計学 / 政策疫学 / 臨床疫学 / 倫理 / 歴史

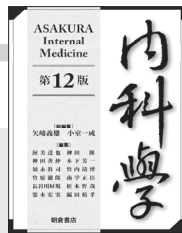
◎5年ぶりの全面改訂。オンライン版『デジタル内科学』も発売中！

内科学 第12版

矢崎義雄・小室一成 総編集

四六倍判 / 2588頁 定価 31,900円 (本体 29,000円) (32280-4)

国内の精鋭執筆陣による最新の記述。第11版以降の医学の進歩と変化をわかりやすく記述。新型コロナウイルス感染症 COVID-19 項目を新設。更に、オンライン事典版『デジタル内科学』も発売中！お好みの形態をお選びください。



 朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29
電話 営業部 (03) 3260-7631 FAX (03) 3260-0180
<https://www.asakura.co.jp>

(ISBN) は 978-4-254- を省略

京都

救急診療のバイブルとして、 ぜひ白衣のポケットに！

ER ポケットブック

目次

- I 原則編
- II 検査編
- III トリアージで考える
主訴別アプローチ編
- IV 治療編
- V 特殊分野編
- VI 使える！ ERの覚え書き

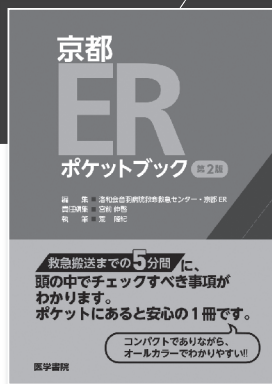
第2版

編集 ■ 洛和会音羽病院救命救急センター・
京都 ER

責任編集 ■ 宮前 伸啓

執筆 ■ 荒 隆紀

- ◆ ER研修の壁を乗り越える**サポーター**として、
上級医の頭の中を言語化してコンパクトに。
- ◆ 第2版は**皆が讀くERでのポイント**を意識した
改訂。
- ◆ 主訴別アプローチの「アタマの中」は**文字+イラスト**や**フロー**で図示し、緊急性の高い病態対応の大きな幹をイメージ化。
- ◆ **コンパクト**でありながら**オールカラー**でわかりやすい！



- A6 頁528 2023年
定価：4,180円
(本体3,800円+税10%)
[ISBN978-4-260-04988-7]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

WHO 2020分類に基づき病理学的な取扱いを改訂!

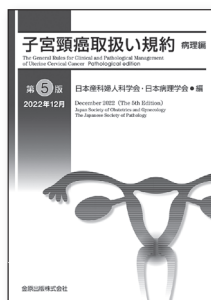
日本産科婦人科学会・日本病理学会 ● 編

子宮頸癌取扱い規約

病理編 第5版 2022年12月

5年ぶりの改訂版となる本書では、WHO組織分類(2020年)に基づき内容を一新。組織図譜も追加され、付録として外陰腫瘍・腔腫瘍の進行期分類と組織分類が収載された。

◆B5判 136頁 ◆定価4,950円(本体4,500円+税10%)
ISBN978-4-307-30152-7

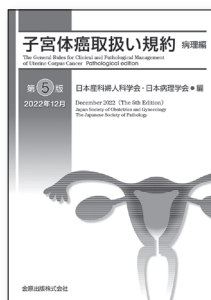


子宮体癌取扱い規約

病理編 第5版 2022年12月

5年ぶりの改訂版となる本書では、WHO組織分類(2020年)に基づき内容を一新。分子遺伝学的予後因子についての解説が追加されたほか、組織図譜も大幅に拡充された。

◆B5判 112頁 ◆定価4,950円(本体4,500円+税10%)
ISBN978-4-307-30151-0

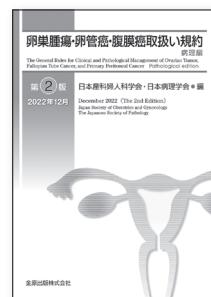


卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌 取扱い規約

病理編 第2版 2022年12月

6年ぶりの改訂版となる本書では、WHO組織分類(2020年)に基づき内容を一新。高異型度漿液性癌における原発巣決定の解説が追加されたほか、組織図譜も大幅に更新された。

◆B5判 136頁 ◆定価7,150円(本体6,500円+税10%)
ISBN978-4-307-30153-4



 金原出版

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL03-3811-7184(営業部直通) FAX03-3813-0288

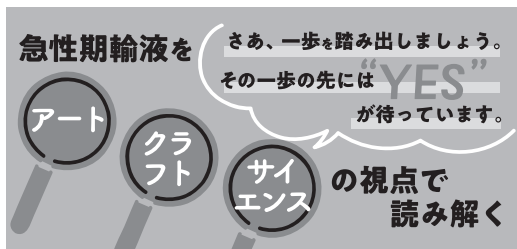
ホームページ <https://www.kanehara-shuppan.co.jp/>



時系列で紐解く

有益な輸液の話

著 | 川上大裕



異例の
発売前重版!
を果たした
超・話題作!

A5判・192頁

定価 **3,960**円 (税込)

序文・目次公開中



株式会社 金芳堂

〒606-8425 京都市左京区鹿ヶ谷西寺ノ前町34番地
Tel 075-751-1111(代) Fax 075-751-6858

<https://www.kinpodo-pub.co.jp/>

Medical Tribune Group

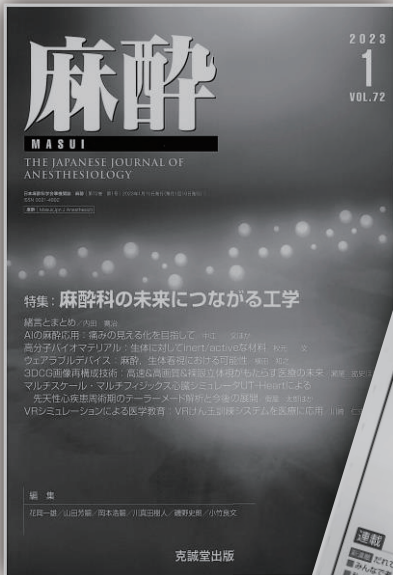
雑誌年間購読 受付中！

麻酔 定価39,160円

@2,600×12+増刊4,400+税

形成外科 定価49,610円

@3,300×12+増刊5,500+税



克誠堂出版株式会社

東京都文京区本郷3-23-5-202 Tel.03-3811-0995 Fax03-3813-1866

内科医・
かかりつけ医
のための
アルコール
使用障害
治療ハンドブック

Treatment handbook of alcohol use disorder

監修：成瀬暢也
編集：成瀬暢也・角田 亘
% 22 新興医学出版社

内科医・かかりつけ医のための アルコール使用障害治療ハンドブック

編著：成瀬暢也

アルコール使用障害の重症化は精神科医と内科医・かかりつけ医の連携で予防できる！ **アルコール診療の根底を覆す**臨床医向け治療ハンドブック。

A5判・280頁 定価4,400円（本体4,000円+税10%）
[ISBN978-4-88002-923-8]

リハビリテーション医学 ミニマムペディア

著者：角田 亘

全診療科必携！ **基本の知識を最短でマスター！** リハビリテーション医療の基礎知識から診療科ごとの疾患・評価・訓練までコンパクトに網羅。

B6変型判・184頁 定価2,970円（本体2,700円+税10%）
[ISBN978-4-88002-890-3]



フローチャート コロナ後遺症 漢方薬

あなたも今日から診療できる！

監修 高尾昌樹
監修 新見正則 和田健太郎

どんな困った後遺症にも対応

% 22 新興医学出版社

フローチャートコロナ後遺症漢方薬

あなたも今日から診療できる！

監修：高尾昌樹

編者：新見正則・和田健太郎

漢方薬があれば**コロナ後遺症の患者さんのどんな悩みにも対応**できます。どんな症状にどの漢方薬が必要か、フローチャートで簡単検索。

B6変型判・136頁 定価3,190円（本体2,900円+税10%）
[ISBN978-4-88002-894-1]

精神医学領域の論文を読みこなす キーワード100！

編著：鬼塚俊明・橋本亮太

華麗なる豪華執筆陣が、いま、押さえておくべき基本を徹底レクチャー。大枠を手っ取り早くつかんで効率的に勉強したい精神科医のための必携書。

B6変型判・280頁 定価4,400円（本体4,000円+税10%）
[ISBN978-4-88002-886-6]

精神医学領域
の論文を読みこなす
キーワード100

500 Keywords for Reading Papers in the Field of Psychiatry!

監修 鬼塚俊明（大阪大学大学院医学部精神科准教授）

編著 橋本亮太（大阪大学大学院医学部精神科准教授）

監修 新見正則（大阪大学大学院医学部精神科准教授）

監修 和田健太郎（大阪大学大学院医学部精神科准教授）

% 22 新興医学出版社



% 22 新興医学出版社



株式会社 新興医学出版社

〒113-0033 東京都文京区本郷6-26-8

TEL. 03-3816-2853 FAX. 03-3816-2895

http://www.shinkoh-igaku.jp

e-mail: info@shinkoh-igaku.jp

真興交易医書出版部 新刊・好評書のご案内

改訂第2版

最新保健学 公衆衛生・疫学

監修 野尻雅美 千葉大学名誉教授
日本健康医学会名誉理事長

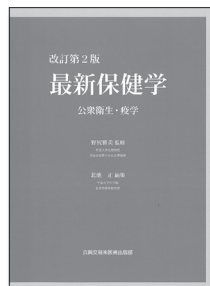
編集 北池 正 千葉大学大学院看護学研究院教授

B5判・330頁 定価4,950円(本体4,500円+税)

2016年発売の『最新保健学—公衆衛生・疫学』の改訂版

1982年刊行の「現代看護学基礎講座」(全9巻)から改訂と増版を重ね、看護師や保健師の養成大学などの教科書として、また健康学の成書として愛用されてきた「最新保健学」。各分野の内容の基本的な部分はそのままに、「国民衛生の動向」などによる最新データへのアップデートを中心に改訂版を発行。今後も深化し続ける保健学の基礎的かつ先進的な教科書。

最新刊



ISBN 978-4-88003-259-7

がん疼痛患者に対する 脊髄くも膜下鎮痛法

好評

著 金井昭文 北里大学医学部新世紀医療開発センター
疼痛学教授
北里大学病院緩和ケアセンター長

B5判・124頁・定価7,150円(本体6,500円+税)

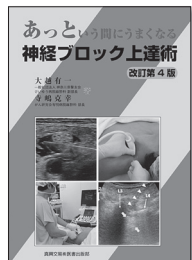


ISBN 978-4-88003-945-9

あっという間にうまくなる 神経ブロック上達術 改訂第4版

著 大越有一 一般社団法人 神奈川県警友会けいゆう病院
麻酔科 副部長
寺嶋克幸 がん研究会有明病院麻酔科 部長

B5判・276頁・定価7,480円(本体6,800円+税)



ISBN 978-4-88003-942-8

〒106-0047 東京都港区南麻布2丁目8番18号

電話(03)3798-3315 FAX(03)3798-3036

真興交易(株)医書出版部

URL: <http://www.sshinko.com>

E-mail: info@sshinko.com

小児急性脳症
診療ガイドライン

2023

日本小児神経学会
小児急性脳症診療ガイドライン
改訂ワーキンググループ

診断と治療社

小児急性脳症診療
ガイドライン 2023

B5判 152頁 定価3,630円(本体3,300円+税)ISBN978-4-7878-2566-7

概念・疫学から診断・検査、管理・治療など、教科書としても使える急性脳症の総論・各論部分はMinds 2007に準拠した2016年版の内容をアップデートし、さらにMinds 2020に基づくシステムティックレビューから推奨文を作成したCQを新たに1つ追加、現時点での“日本の小児急性脳症研究の最大公約数的な到達点”として、小児急性脳症の診療にかかわるすべて医師、必携の書。

熱性けいれん
(熱性発作)

診療ガイドライン

2023

日本小児神経学会
熱性けいれん診療ガイドライン
改訂ワーキンググループ

診断と治療社

熱性けいれん(熱性発作)
診療ガイドライン 2023

B5判 128頁 定価3,300円(本体3,000円+税)ISBN978-4-7878-2564-3

日常診療でよく遭遇する熱性けいれん(熱性発作)の初期対応、検査、薬の使い方、注意すべき薬剤、予防接種についてCQ形式でわかりやすく解説。2023年版では前版に寄せられたご意見を踏まえ、CQの内容の更新、遺伝に關する項目、保護者向けの発熱時ジアゼパム坐剤予防投与のパンフレット例や海外の熱性けいれんのガイドラインの紹介を加えより充実した1冊に。

小児てんかん重積状態・
けいれん重積状態

治療ガイドライン

2023

日本小児神経学会
小児てんかん重積状態・けいれん重積状態
治療ガイドライン改訂ワーキンググループ

診断と治療社

小児てんかん重積状態・
けいれん重積状態治療
ガイドライン 2023

B5判 220頁 定価4,180円(本体3,800円+税)ISBN978-4-7878-2567-4

小児救急医療で高頻度に遭遇するけいれん重積状態の病院前治療・初期治療から難治性病態の対応まで、治療選択肢等の医療事情を考慮しつつアップデート、適応外使用となる薬剤はその適切な使用を注意喚起のうえ解説し、発作時の患者に対して最善の治療が施せるよう、よりわかりやすく解説した1冊に。



診断と治療社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 4F

TEL03-3580-2770 FAX03-3580-2776

http://www.shindan.co.jp/

総合医学社の好評シリーズ

診療指針・ガイドライン シリーズ

小児科診療ガイドライン —最新の診療指針— 第5版

編集：加藤 元博

東京大学大学院医学系研究科 小児医学講座 教授

- 小児科疾患診療のゴールデスタンダードが満載の必携書！
- 小児科医がカバーする広い範囲の症状・疾患について、最新の診断と治療の指針を掲載！

B5判／本文 848頁／定価 18,700円（本体 17,000円＋税）
ISBN978-4-88378-470-7



レビューシリーズ

最新主要文献とガイドラインでみる

消化器内科学レビュー 2022²³

監修：竹原 徹郎

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授/
大阪大学医学部附属病院 病院長

- 消化器内科学分野のエキスパートによって厳選された直近2年間を中心に国内外で発表された最新の文献レビュー！
- 広く消化器内科学関連の最近のトピックスを把握でき、専門医だけでなく、専門医を目指す方にも役立つ1冊！

AB判／本文 376頁／定価 15,400円（本体 14,000円＋税）
ISBN978-4-88378-461-5



最新ガイドラインに基づく 呼吸器疾患 診療指針 2023²⁴

編集：弦間 昭彦

日本医科大学 学長

- 代表的な呼吸器疾患に関わる、国内外の最新ガイドラインの要点と、改訂点をわかりやすく解説！
- ガイドラインに則った専門医の診療の実際と処方も掲載！

B5判／本文 472頁／定価 13,200円（本体 12,000円＋税）
ISBN978-4-88378-936-8



最新主要文献でみる

脳神経外科学レビュー 2023²⁴

監修：新井 一 順天堂大学 学長

齊藤 延人 東京大学 教授
若林 俊彦 名古屋大学 名誉教授

- 脳神経外科学分野のエキスパートによって厳選された。直近に国内外で発表された最新の文献レビュー！
- 広く脳神経外科学関連の最近のトピックスを把握でき、専門医だけでなく、専門医を目指す方にも必携の1冊！

AB判／本文 440頁／定価 17,600円（本体 16,000円＋税）
ISBN978-4-88378-749-4



最新ガイドラインに基づく 消化器疾患 診療指針 2023²⁴

編集：中島 淳

横浜市立大学大学院医学研究科
肝胆膵消化器病学教室 主任教授

- 国内外の最新ガイドラインの要点と、改訂点をわかりやすく解説！
- ガイドラインに則った専門医の診療の実際と処方も掲載！

B5判／約 400頁／予価 11,000円（本体 10,000円＋税）
ISBN978-4-88378-937-5



最新主要文献とガイドラインでみる

整形外科学レビュー 2023²⁴

監修：竹下 克志

自治医科大学医学部 整形外科教室 教授

- 整形外科分野のエキスパートによって厳選された直近2年間に国内外で発表された最新文献のレビュー！
- 整形外科関連の最新の研究成果や動向を把握でき、専門医だけでなく、専門医を目指す方にも役立つ1冊！

AB判／約 300頁／予価 13,200円（本体 12,000円＋税）
ISBN978-4-88378-471-4



最新ガイドラインに基づく 神経疾患 診療指針 2023²⁴

編集：鈴木 則宏

湘南慶育病院 院長

- 国内外の最新ガイドラインの要点と、改訂点をわかりやすく解説！
- ガイドラインに則った専門医の診療の実際と処方も掲載！

B5判／約 560頁／予価 16,500円（本体 15,000円＋税）
ISBN978-4-88378-938-2



最新主要文献とガイドラインでみる

麻酔科学レビュー 2023

監修：山藤 道明

札幌医科大学医学部 麻酔科学講座 教授

廣田 和美

弘前大学大学院医学研究科 麻酔科学講座 教授

- 麻酔科学分野のエキスパートによって厳選された直近1年間に国内外で発表された最新文献のレビュー！
- 約60テーマをとり上げ、この1冊を読むだけで最新の研究成果や麻酔科学分野の動向把握が可能！

AB判／約 350頁／予価 13,200円（本体 12,000円＋税）
ISBN978-4-88378-472-1



小児疾患診療のための

病態生理 改訂第6版

『小児内科』『小児外科』編集委員会共編

●B5判2色刷 ●定価 12,100 円 (本体 11,000 円+税 10%)

雑誌「小児内科」 2020 Vol.52 増刊号

小児疾患診療のための病態生理 1 改訂第6版

- I. 総論 II. 呼吸器疾患 III. 循環器疾患
IV. 消化器疾患 V. 代謝栄養性疾患
VI. 感染症

1



雑誌「小児内科」 2021 Vol.53 増刊号

小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第6版

- I. 総論 II. 新生児疾患 III. 染色体異常,
先天異常 IV. 内分泌疾患 V. 腎・泌尿器疾患
VI. 免疫不全 VII. アレルギー疾患
VIII. リウマチ性疾患とその周辺疾患
IX. 中毒 X. 事故

2



雑誌「小児内科」 2022 Vol.54 増刊号

小児疾患診療のための病態生理 3 改訂第6版

- I. 総論 II. 先天代謝異常 III. 神経疾患
IV. 筋疾患 V. 骨・運動器疾患
VI. 発達障害, 心身症, 精神疾患
VII. 血液・腫瘍性疾患 VIII. 境界領域疾患

3



小児科臨床医の定番!



東京医学社
TOKYO IGAKUSHA

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

TEL : 03-3265-3551 FAX : 03-3265-2750

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

<https://www.tokyo-igakusha.co.jp>



講座 精神疾患の臨床

Comprehensive Handbook of Clinical Psychiatry

好評につき
続刊決定!!

- 〈監修〉 松下正明 (東京大学名誉教授)
 〈編集主幹〉 神庭重信 (九州大学名誉教授)
 〈編集〉 池田学 (大阪大学教授)
 笠井清登 (東京大学教授)
 久住一郎 (北海道大学教授)
 齋藤正彦 (都立松沢病院名誉院長)
 三村将 (慶應義塾大学教授)
 村井俊哉 (京都大学教授)

B5判 / 上製 / 2色刷 / 320 ~ 520頁



- 現在わが国の精神科臨床の第一線で活躍中の、全国気鋭の多数の専門家の全面的な協力により成立した精神科書籍の決定版。
- 临床上ニーズの高い疾患を中心にシリーズを構成。
- 疾患概念についてはICD-11に完全対応、必要に応じてDSM-5を対比させ、「伝統的・古典的疾患概念」も紹介。

■各巻の構成と担当編集■

- | | | |
|--|--|-----------------------------|
| ① 気分症群 | (担当編集: 神庭重信)
【編集協力】 大森哲郎 加藤忠史
川壽弘詔 | 定価 16,500円
(本体15,000円+税) |
| ② 統合失調症 | (担当編集: 笠井清登)
【編集協力】 池淵惠美 福田正人
水野雅文 | 定価 16,500円
(本体15,000円+税) |
| ③ 不安または恐怖関連症群 強迫症
ストレス関連症群 パーソナリティ症 | (担当編集: 三村将)
【編集協力】 岡野憲一郎 林直樹
松永寿人 | 定価 17,600円
(本体16,000円+税) |
| ④ 身体的苦痛症群 解離症群 心身症
食行動症または摂食症群 | (担当編集: 久住一郎)
【編集協力】 岡野憲一郎 尾崎紀夫
須藤信行 山田和男 | 定価 17,600円
(本体16,000円+税) |
| ⑤ 神経認知障害群 | (担当編集: 池田学)
【編集協力】 古茶大樹 繁田雅弘
門司晃 | 定価 17,600円
(本体16,000円+税) |
| ⑥ てんかん 睡眠・覚醒障害 | (担当編集: 村井俊哉)
【編集協力】 内山真 兼本浩祐 | 定価 18,700円
(本体17,000円+税) |
| ⑦ 地域精神医療 リエゾン精神医療
精神科救急医療 | (担当編集: 齋藤正彦)
【編集協力】 中込和幸 西村勝治
八田耕太郎 | 定価 18,700円
(本体17,000円+税) |

【以後続刊】

- ⑧ 神経発達症群 / ⑨ 物質使用症又は嗜好行動症群 性別不合

中山書店

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-6 TEL 03-3813-1100 FAX 03-3816-1015
<https://www.nakayamashoten.jp/>

治療

CHIRYO

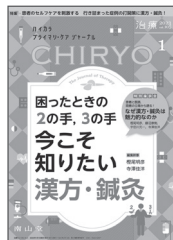
【通常号】B5判／毎月1日発行
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

年間予約購読料

定価33,000円
(本体30,000円+税10%)

通常号12冊(年12冊)【送料サービス】

ハイカラ プライマリ・ケア ジャーナル



2023年1月号 Vol.105 No.1

困ったときの2の手, 3の手
今こそ知りたい漢方・鍼灸

2023年2月号 Vol.105 No.2

不明熱のカルテ

2023年3月号 Vol.105 No.3

ポストコロナの感染症

▶ 2023年4月号 Vol.105 No.4

達人に学ぶ 小児の発熱・皮膚疾患

薬局

The Journal of Practical Pharmacy

【通常号】B5判／毎月5日発行
定価2,200円(本体2,000円+税10%)

【増刊号】B5判／3月発売予定
定価6,600円(本体6,000円+税10%)

年間予約購読料

定価33,000円
(本体30,000円+税10%)

通常号12冊+増刊号1冊(年13冊)【送料サービス】

薬剤師の知識やスキルのおさらい&アップデートをサポート



2023年1月号 Vol.74 No.1

おくすり比べてみました
知っておきたい!同種・同効薬の使いどころ

2023年2月号 Vol.74 No.2

睡眠薬のトリセツ
今すぐ使える不眠治療の処方箋

2023年3月号 Vol.74 No.3

ここが変わった!
関節リウマチの治療

▶ 2023年3月増刊号 Vol.74 No.4

薬語 図鑑

基礎薬学用語を
現場で使える知識に訳してみました

Rp+

Recipe Plus
レシピプラス

【通常号】B5判
年4回(1/4/7/10月)1日発行
定価1,320円(本体1,200円+税10%)

年間予約購読料

定価5,280円
(本体4,800円+税10%)

通常号4冊(年4冊)【送料サービス】

書籍になりますが、定期刊行いたしますので、
年間購読としてご契約いただけます。

ちょっとがんばる薬剤師・医療スタッフのための入門専門誌



2022年夏号 Vol.21 No.3

尿のトラブル110番
排尿を助けるくすり, 妨げるくすり

2022年秋号 Vol.21 No.4

ゼロから始める
せん妄対策・療養支援のはなし

2023年冬号 Vol.22 No.1

自己流はやめよう!
自己注射デバイス絵巻

▶ 2023年春号 Vol.22 No.2

すぐに役立つ・ずっと使える 漢方 The 基本



南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857(営業)

URL <https://www.nanzando.com>
E-mail eigyو_bu@nanzando.com